

# 公 告

分任契約担当官  
陸上自衛隊金沢駐屯地  
第336会計隊長 山崎 誠

以下のとおり一般競争入札を実施するので、「入札及び契約心得」及び「契約条項」を承知のうえ参加されたい。

## 1 入札事項

契約実施計画番号		調 達 要 求 番 号		物 品 番 号		仕 様 書 番 号	
5QFE10600030		5RSU1AC0018 0001					
品名 または 件名							
空調保守点検							
部品番号 または 規格							
仕様書のとおり							
使用 器 材 名							
数 量	単 位	銘 柄	使 用 期 限 等	グ ル ー プ	指 定	検 査	包 装
1.00	ST						
納地または工事場所				引 渡 場 所			
金沢駐業				管理科 飯田事務官 内線447			
搬入場所				納 期 または 工 期			
金沢駐屯地業務隊管理科営繕班				令和8年3月31日(火)			

## 2 競争参加資格

次のいずれかであること

全省庁統一資格の「役務の提供等」に係る等級がA、B、C、D等級であること

ただし、細部は注意事項による。

## 3 契約条項を示す場所

仕様書及び入札心得等については、金沢駐屯地第336会計隊契約班において示す。

## 4 説明会及び入札執行の日時場所

説明会日時場所：

入札日時場所：令和7年4月25日(金)13時10分 第336会計隊商議室

## 5 保証金

入札保証金：免除 契約保証金：免除

## 6 落札決定方式及び契約方式

落札決定方式：総品目総額 契約方式：一般競争

## 7 注意事項

別紙の通り

## 1 競争に参加する者に必要な資格に関する事項

- (1) 令和7・8・9年度全省庁統一競争参加資格「役務の提供等」D等級以上で、東海・北陸地域の競争参加資格を有するもの。
- (2) 予算決算及び会計令第70条の規定に該当しない者であること。  
なお、未成年者、被補佐人又は被補助人であって、契約締結のために必要な同意を得ているものは、同条中、特別の理由がある場合に該当する。
- (3) 予算決算及び会計令第71条の規定に該当しない者であること。
- (4) 契約担当官等から指名停止の措置を受けている期間中の者でないこと。
- (5) 都道府県警察から暴力団関係業者として防衛省が発注する工事等から排除するよう要請があり、当該状態が継続している有資格業者については、競争参加を認めない。
- (6) 入札後、契約を締結するまでの間に、都道府県警察から暴力団関係業者として防衛省が発注する工事等から排除するよう要請があり、当該状態が継続している有資格業者とは契約を行わない。
- (7) 入札者心得に定める「暴力団排除に関する誓約事項」に基づく誓約を行わない者の競争参加を認めない。
- (8) 防衛省大臣官房衛生監、防衛政策局長、防衛装備庁長官又は陸上幕僚長から「装備品等及び役務の調達に係る指名停止等の要領」に基づく指名停止の措置を受けている期間中の者でないこと。
- (9) 前号により現に指名停止を受けている者と資本関係又は人的関係のある者であって、当該者と同種の物品の売買又は製造若しくは役務請負について防衛省と契約を行おうとする者でないこと。
- (10) 原則、現に指名停止を受けている者の下請負については認めない。ただし、真にやむを得ない事由を該当する省指名停止権者が認めた場合には、この限りでない。
- (11) 情報保全に係る履行体制について、適切な体制を有すると確認できる者。業務従事者若しくは親会社等の国籍が、発注者との契約に違反する行為を求められた場合に、これを拒む権利を実効性をもって法的に保障されない国又は地域に該当する者及び国連安保理決議において働許可を提供しないことが決定されている国又は地域に該当する者は入札参加を認めない。

## 2 契約条項を示す場所

- (1) 金沢駐屯地第336会計隊契約班において示す。
- (2) 入札の参加を希望する者は、入札参加表明後、令和7・8・9年度全省庁統一競争参加資格に係る「資格審査結果通知書」の写しを提出（FAX又は電子メールによる提出可）すること。
- (3) 適用する契約条項
  - ア 役務請負契約条項
  - イ 談合等の不正行為に関する特約条項
  - ウ 暴力団排除に関する特約条項

## 3 競争入札執行の場所及び日時

- (1) 場 所：陸上自衛隊金沢駐屯地 第336会計隊商議室
- (2) 日 時：令和7年4月25日（金） 13時10分

## 4 保証金等

- (1) 入札保証金及び契約保証金：免 除
- (2) 違約金：落札者が「入札及び契約心得」に従って契約の締結手続きをしない場合には、落札者が契約締結に応じないものとみなし、落札価格の100分の5に相当する金額を違約金として徴収し、契約者が契約を履行しない場合は、契約金額の100分の10以上の金額を違約金として徴収する。

## 5 説明会

実施しない。

ただし、現場等を確認したい場合は、第10項(11)で示す業務隊管理科へ事前に調整すること。

## 6 入札方法

落札決定にあたっては、入札書に記載された金額に、当該金額の10%に相当する額を加算した金額(当該金額に1円未満の端数があるときは、その端数金額を切り捨てるものとする)をもって落札(決定)金額とするので、入札者は消費税、地方消費税の課税事業者、免税事業者であることに拘わらず入

札書には、見積もった金額の110分の100を記載すること。  
 また、入札書に記載した金額の内訳がわかる「内訳明細書」を同封して提出すること。  
 (内訳明細書の様式は随意)

## 7 落札決定方法

### 総品目総額決定

入札金額が当隊所定の予定価格の範囲内の最低価格の入札書を落札者とする。なお、落札者となるべき最低価格入札が2名以上ある場合は抽選により落札者を決定する。

## 8 契約書の作成

落札者は、落札決定後遅滞なく契約書を作成する。

## 9 入札の無効

- (1) 第1項に示す競争に参加する者に必要な資格のない者が行った入札
- (2) 入札に関する条項に違反した入札
- (3) 入札金額、入札者氏名及び押印が判明し難い入札  
 ※押印を省略する場合は押印に代えて、責任者及び担当者氏名及び連絡先を記入してください。
- (4) 入札者等が実施した「暴力団排除に関する誓約事項」に基づく誓約に虚偽があった場合の入札

## 10 その他

- (1) 電報・電話・FAXによる入札は、認めません。
- (2) 入札及び契約心得は、中部方面隊ホームページ内の標準入札心得による。
- (3) 代理人による入札については、委任状を提出すること。
- (4) 郵便による入札の場合は、入札日前日までに必着となるように発送してください。なお、郵送の際は、便着していることを電話にて確認して下さい。
- (5) 予定価格に達しない場合は再度入札を実施します。郵便による入札がない場合は当日実施し、郵便による入札がある場合は別途連絡します。
- (6) 初度の入札時に必ず入札金額の「内訳書」を提出すること。(様式随意)なお、再度入札になった場合の内訳書については、速やかに郵送等により提出すること。
- (7) 市価調査について、令和7年4月22日17時00分までに、メール又はFAXにてご提出願います。
- (8) この入札に関する公告は  
 陸上自衛隊金沢駐屯地 第336会計隊  
 陸上自衛隊鯖江駐屯地 第336会計隊鯖江派遣隊  
 陸上自衛隊富山駐屯地 第336会計隊富山派遣隊  
 金沢市新神田合同庁舎 に掲示しています。  
 また、陸上自衛隊中部方面隊ホームページ  
<http://www.mod.go.jp/gsdf/mae/mafin/>に掲載しています。
- (9) 入札書は、随時第336会計隊事務所において配布(メール可)します。
- (10) 落札後、日程等の調整は、下記(11)イの連絡先までお願いいたします。
- (11) 問い合わせ及び連絡先  
 入札及び契約に関する事項  
 ア 入札及び契約に関する事項  
     〒921-8520 石川県金沢市野田町1-8  
     陸上自衛隊金沢駐屯地 第336会計隊 契約班 担当： 中内  
     TEL 076-241-2171 (内線 348)  
 イ 規格及び仕様に関する事項、現場等確認調整先  
     陸上自衛隊金沢駐屯地 業務隊 管理科 担当： 飯田  
     TEL 076-241-2171 (内線 445)

申込日年月日： . . .

# 参加申込票

## 注意事項等

- 1 入札参加を希望する場合は本申込票に必要事項(太枠線内)を記入し下記の3の連絡先までFAXしてください。また、参加を予定している入札の区分の欄に、チェックの表記をお願いします。
- 2 入札書を郵送する場合  
郵送する封筒の表に入札件名、入札日時を朱書きにより明記して郵送し、発送者の責により到着の確認を実施してください。
- 3 連絡先  
第336会計隊 契約班 担当：中内  
TEL 076-241-2171 (内線：348)  
FAX 076-241-2374
- 4 入札関係書類等について  
参加申込確認後、メールまたはFAXの方法にて送付致します。

公開日	令和7年4月11日	
件名	空調保守点検	
入札日時	令和7年4月25日(金) 13時10分～	
入札場所	陸上自衛隊金沢駐屯地 会計隊 商議室	
会社名		
電話番号		
FAX番号		
メールアドレス		
担当者名		
参加方法 (該当する欄に○をして下さい)	持参	郵便

入 札 書

分任契約担当官  
陸上自衛隊金沢駐屯地  
第336会計隊長 山 崎 誠 殿

入札金額（税抜き） 円

---

※入札金額の内訳がわかる「内訳明細書」を提出すること。  
（内訳明細書の様式は随意）

件 名 : 空調保守点検

令和7年4月25日

住 所  
社 名  
代表者 \_\_\_\_\_ 印

入札公告に対して「入札及び契約心得」及び「標準契約書等」の契約条項等を承諾のうえ入札いたします。

当社（私（個人の場合）、当団体（団体の場合））は、暴力団排除に関する誓約事項について誓約いたします。

業者 各位



石川県金沢市野田町1-8  
陸上自衛隊金沢駐屯地 第336会計隊  
担当者 中内  
Tel 076-241-2171(内348)  
Fax 076-241-2374

## 市場価格調査ご依頼

拝啓 時下ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。

入札に先立ちまして、下記のとおり市場価格調査を致しますので、ご協力お願いします。

敬具

### 記

- 1 調査事項 調査票内容の市場価格(消費税は含まない)
- 2 提出要領 「市場価格調査票」に記入のうえ、メール又はFAXで返信願います。  
※下記項目外で必要な事項あれば別途記載願います。  
諸経費内訳もあれば記載願います。

## 「市場価格調査票」

分任契約担当官

陸上自衛隊金沢駐屯地

第336会計隊長 山崎 誠 殿

住所・名称・代表者名

品名	規格	単位	数量	単価	金額	備考
<b>①全額</b>						
空調保守点検	仕様書のとおり	式	1			(税抜)
<b>②細部内訳</b>						
※細部内訳は、上記「①全額」の内訳ではなく、本件の項目ごとの個別の市場価格調査になります。						
(1) 119号建物冷温水ポンプ消耗品取替に係る消耗品費	消耗品の数量等は、仕様書のとおり	式	1			
(2) 119号建物真空給水ポンプ消耗品取替に係る消耗品費		式	1			
(3) 174号建物冷温水ポンプ消耗品取替に係る消耗品費		式	1			
(4) 174号建物冷却水ポンプ消耗品取替に係る消耗品費		式	1			
(5) 174号建物真空給水ポンプ消耗品取替に係る消耗品費		式	1			
(6) 174号建物エアハンドリングユニットVベルト取替に係る消耗品費		式	1			
(7) 209号建物冷温水ポンプ消耗品取替に係る消耗品費		式	1			
(8) 209号建物真空給水ポンプ消耗品取替に係る消耗品費		式	1			
(9) 216号建物冷温水ポンプ消耗品取替に係る消耗品費		式	1			
(10) 216号建物真空給水ポンプ消耗品取替に係る消耗品費		式	1			
(11) 冷温水ストレーナー清掃に係る消耗品費		式	1			

# 空調保守点検

仕様書番号	C-0014					
件名	空調保守点検				図面番号	1/37
図面名称	仕様書				縮尺	—
陸上自衛隊金沢駐屯地業務隊管理科						
業務隊長	管理科長	営繕班長	電気	ボイラー	設計	

# 仕 様 書

1 役務名称

空調保守点検

2 役務場所

石川県金沢市野田町1-8 (陸上自衛隊金沢駐屯地)

3 概要

174号建物ほか8棟の空調保守点検

4 期間

契約締結日～令和8年3月31日

5 一般事項

- (1) 本役務は本仕様書、図面、建築保全業務共通仕様書(国土交通省大臣官房営繕部監修)及び監督官の指示に基づき実施すること。
- (2) 本役務の実施にあつては、関係法令及び条例等を遵守すること。
- (3) 仕様書又は図面に不明な事項、また疑義が生じた場合は、監督官と協議及び調整し、仕様書等に記載なき事項でも技術上必要なものは請負業者の責任において良心的に作業すること。このとき、期間及び金額の変更は無いこととする。
- (4) 本役務の実施にあたり、必要となる機材及び車両等については、請負業者の責任において準備することとする。
- (5) 請負業者は、役務の主要な段階及び監督官の指示する場所において写真撮影を実施することとする。
- (6) 請負業者は作業条件を関係者に十分把握させるとともに作業員に対して安全教育を実施し、安全な作業方法及び安全点検を実施し事故防止に万全を期するものとする。
- (7) 作業の際、建物及び物品等に損傷を与えた場合、すみやかに監督官に報告するとともに請負業者の責任において原状復旧すること。
- (8) 作業に必要な場所以外立ち入らないこと。
- (9) 自衛隊施設からの電気及び給水は原則として使用させないこととする。
- (10) 作業完了後、すみやかに作業現場の清掃及び片付けを行うこと。

件 名	空調保守点検	図面番号	2 / 37
図面名称	仕様書	縮 尺	—
陸上自衛隊金沢駐屯地業務隊管理科			



- (11) 作業の実施については、平日の0815～1700までの間とする。ただし、やむを得ない事情等により、土日または、時間外に行う場合は、監督官と調整を行うこと。
- (12) 提出書類
- ア 現場代理人通知書（経歴書及び資格証含む）（契約後すみやかに）
  - イ 工程表（点検毎）（作業時間は平日0815～1700までとする）
  - ウ 作業日誌（点検毎）
  - エ 点検結果報告書（点検毎）
  - オ 着手届（着手前）
  - カ 完了届（完了後すみやかに）
  - キ 作業写真（完了後すみやかに）
  - ク その他監督官が指示するもの
- (13) 提出書類及び申請書等は官側が示す規格及び様式により作成し、提出すること。
- (14) その他不明な事項、提出書類等はその都度監督官と協議し、その指示に従うこと。

#### 6 特記事項

- (1) 冷房イン点検は6月中旬までに完了を基準とする。ただし、174号建物及び205号建物は5月中旬までに完了を基準とする。
- (2) 暖房イン点検は10月下旬までに完了を基準とする。
- (3) 故障等の発見及び部隊側より異常の連絡を受けた場合は、速やかに原因を究明し、状況を監督官に報告したうえで、その指示に従うこと。また、軽微な不具合、故障等は請負業者において修理することとし、この場合における金額及び期間の変更はないものとする。
- (4) 冷温水ストレーナーの清掃を冷暖房イン点検時に実施する。  
 119号建物：6箇所、130号建物：4箇所  
 174号建物：8箇所、209号建物：2箇所  
 ※119、130、209号建物は冷房イン点検時には当該作業を実施しない。
- (5) 冷温水配管のエア抜きを冷暖房イン点検時に実施する。  
 119号建物：8箇所（最上階居室内）、130号建物：8箇所（最上階居室内）  
 174号建物：6箇所（屋上鳩小屋内）、209号建物：16箇所（屋上鳩小屋内）  
 ※119、130、209号建物は冷房イン点検時には当該作業を実施しない。

件名	空調保守点検	図面番号	3 / 37
図面名称	仕様書	縮尺	—
陸上自衛隊金沢駐屯地業務隊管理科			

- (6) 冷温水配管自動エア抜き弁前にあるストレーナーの清掃を冷暖房イン点検時に実施する。
- 119号建物：8箇所（最上階居室内）、130号建物：8箇所（最上階居室内）  
174号建物：6箇所（屋上鳩小屋内）、209号建物：16箇所（屋上鳩小屋内）  
※119、130、209号建物は冷房イン点検時には当該作業を実施しない。
- (7) 冷温水ポンプ等の点検をする際に、消耗部品（メカニカルシール、Oリング、カップリングゴム、ガスケット及びグラウンドパッキン）を確認し、年に一度交換及び調整作業を実施すること。
- (8) (3)及び(7)に記載した事項以外で修繕が必要になった場合においては、修繕方法について監督官に対して報告するとともに、速やかに見積書を作成し、官側に提出すること。
- (9) 故障等の連絡を受けた場合、速やかに現地に赴き、処置を行い、その結果を監督官に報告すること。
- (10) 冷暖房イン点検後、配管及び機器内に残っているエア抜きを終えてから作動させること。
- (11) 216号建物については、整備実習場内のファンコイルユニット（28箇所）のエア抜きを行うこと。
- (12) 174号建物の冷却塔及び各階のエアハンドリングユニットのVベルトを新品のベルトに交換すること。
- (13) 174号建物の冷却塔については、冷房開始前及び冷房終了後に清掃を実施することとし、冷房開始前の清掃の後に、冷却水処理薬品（官給品による）を投入すること。

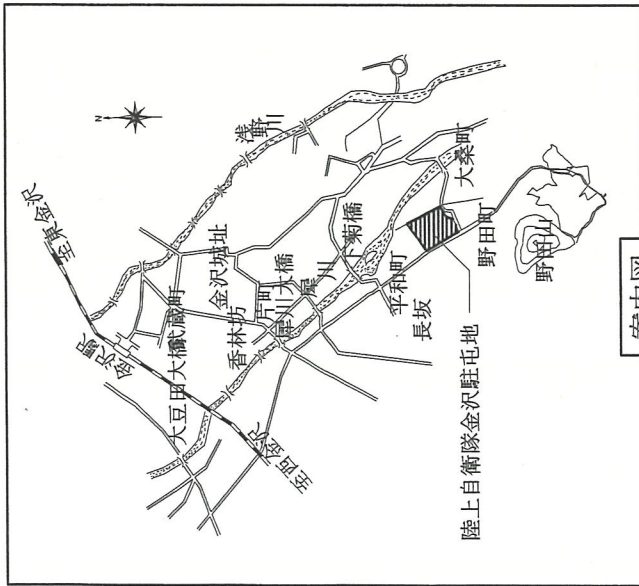
7 点検内容  
別紙による。

8 完成検査

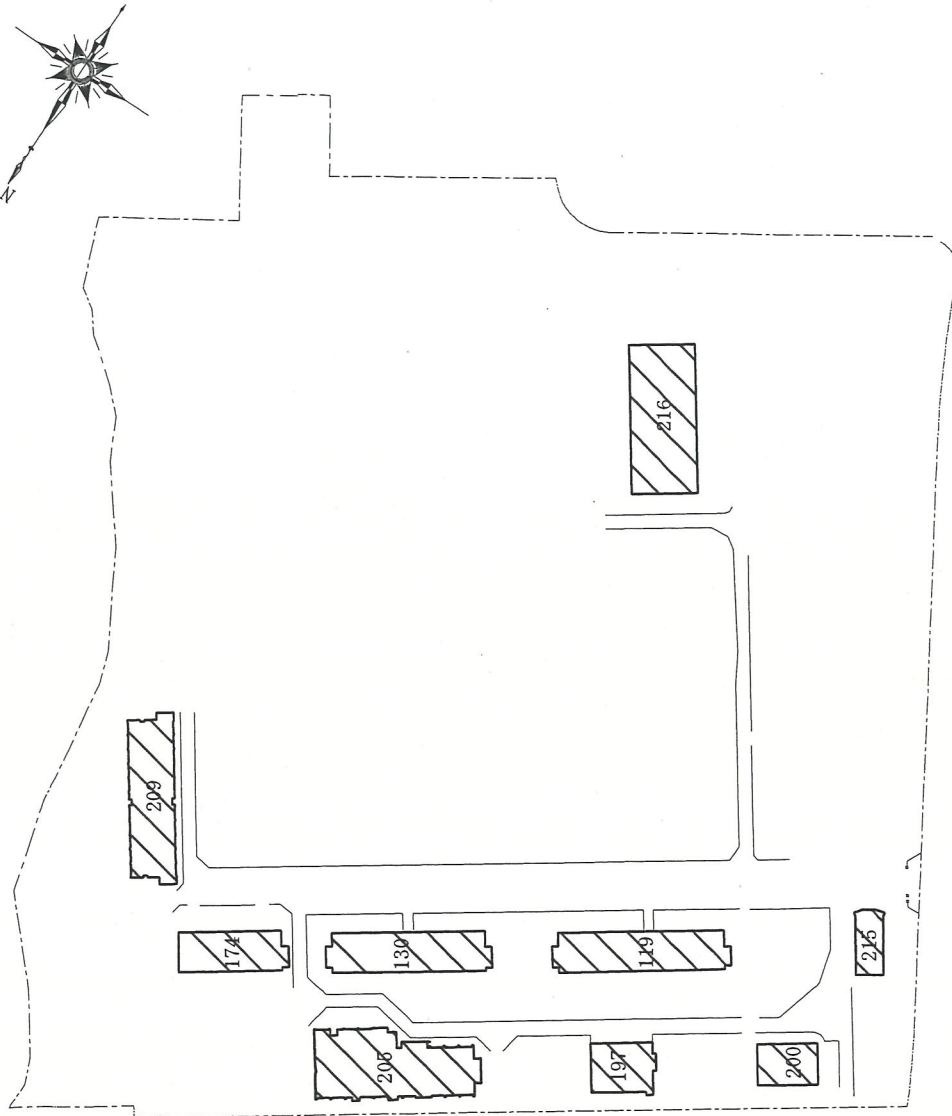
本役務は、検査官の完成検査合格をもって完了とする。手直しがあった場合は、直ちに手直しを行い、再度検査を受けることとする。

件名	空調保守点検	図面番号	4/37
図面名称	仕様書	縮尺	—

陸上自衛隊金沢駐屯地業務隊管理科



案内図



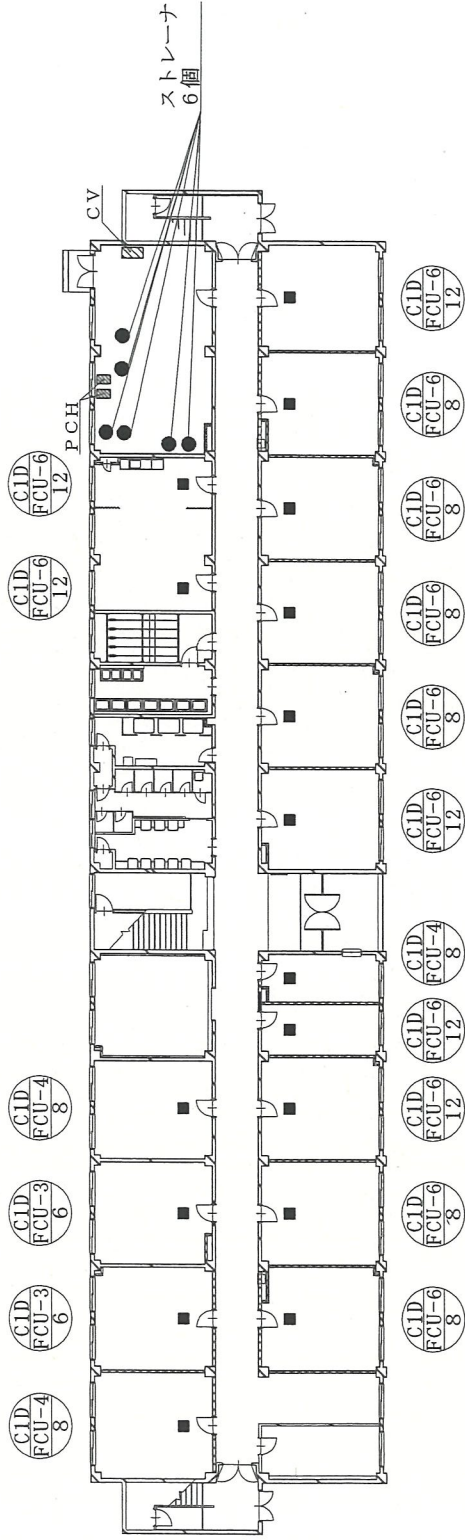
配置図



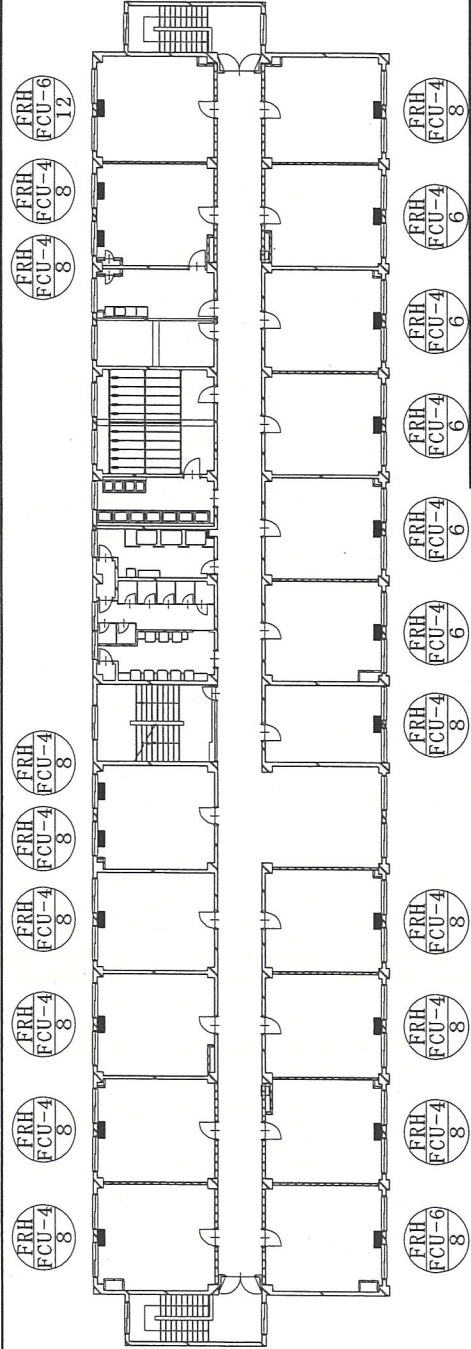
作業場所

件名	空調機保守点検	図面番号	5 / 37
図面名称	案内図・配置図	縮尺	-
陸上自衛隊金沢駐屯地業務隊管理科			

119号建物1階空調設備図 S=1/400



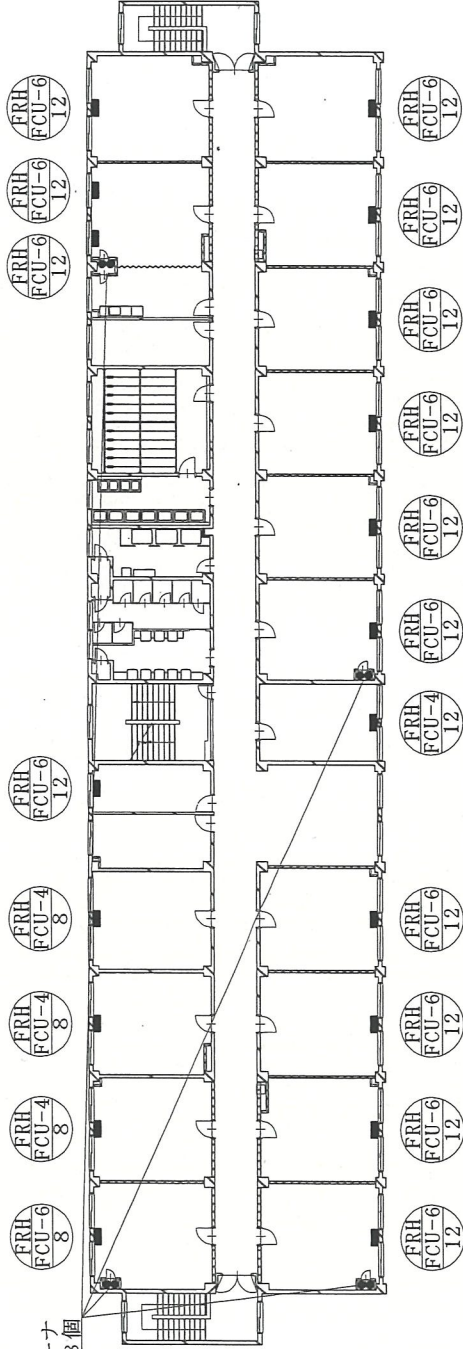
119号建物2階空調設備図 S=1/400



件名	空調機保守点検	図面番号	'6/37
図面名称	119号建物1階・2階空調設備図	縮尺	1/400
陸上自衛隊金沢駐屯地業務隊管理科			

# 119号建物3階空調設備図 S=1/400

自動エア抜き弁及びビストトレーナ  
4箇所計8個



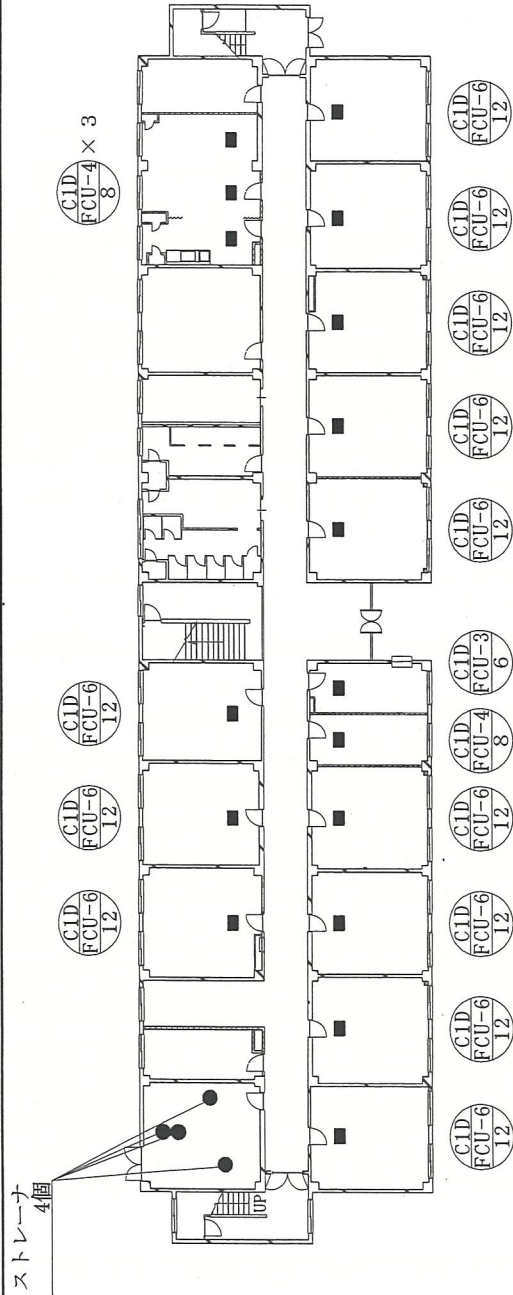
機器一覧表

記号	メーカー名	型式等	電源	台数
FRH FCU-4 水量	三菱	ファンコイルユニット LV-400FE-C1 (床置型)	1φ 100V	22
FRH FCU-6 水量		ファンコイルユニット LV-600FE-C1 (床置型)	1φ 100V	17
CID FCU-3 水量		ファンコイルユニット LH-300FR-C (天井埋込型)	1φ 100V	2
CID FCU-4 水量		ファンコイルユニット LH-400FR-C (天井埋込型)	1φ 100V	3
CID FCU-6 水量		ファンコイルユニット LH-600FR-C (天井埋込型)	1φ 100V	12
PCH	往原	冷温水ポンプ 80×65FS4K611	3φ 200V	2
CV		真空給水ポンプ No2 AC2K	3φ 200V	1

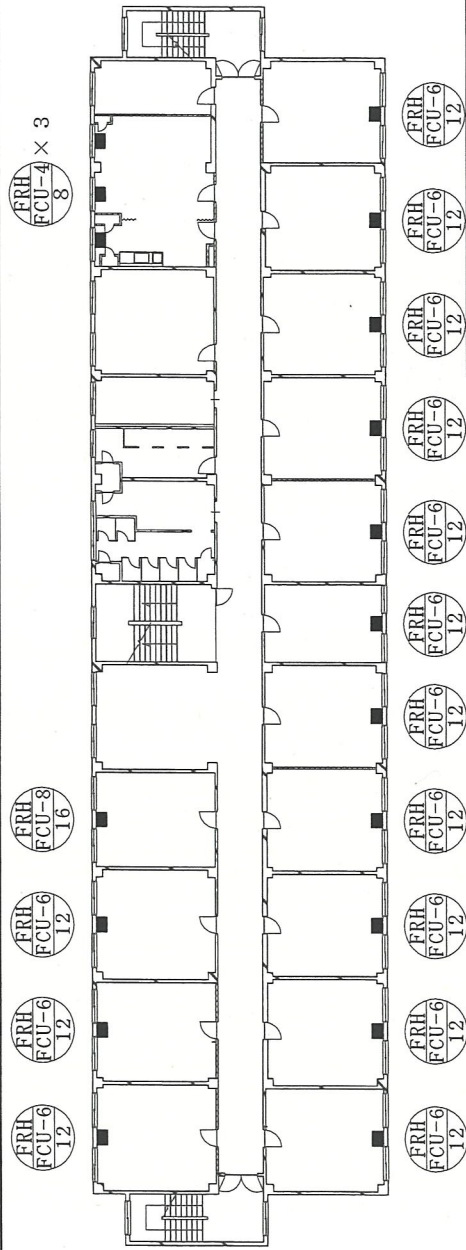
※冷温水ポンプ及び真空給水ポンプは6.(7)に記載している消耗品を交換すること。

件名	空調機保守点検	図面番号	7/37
図面名称	119号建物3階空調設備図	縮尺	1/400
陸上自衛隊金沢駐屯地業務隊管理科			

130号建物1階空調設備図 S=1/400



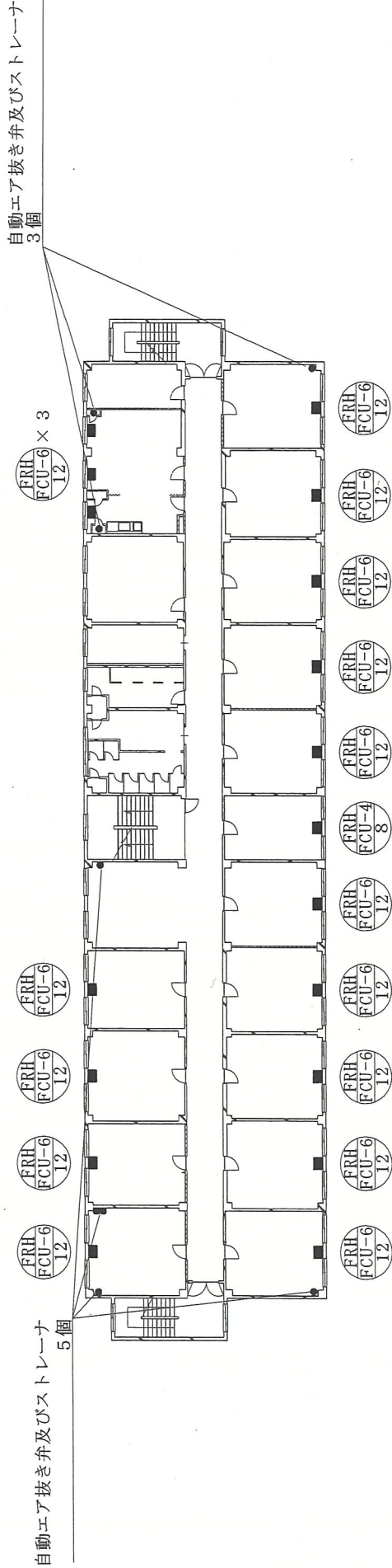
130号建物2階空調設備図 S=1/400



件名	空調機保守点検	図面番号	8/37
図面名称	130号建物1階・2階空調設備図	縮尺	1/400

陸上自衛隊金沢駐屯地業務隊管理科

130号建物3階空調設備図 S=1/400

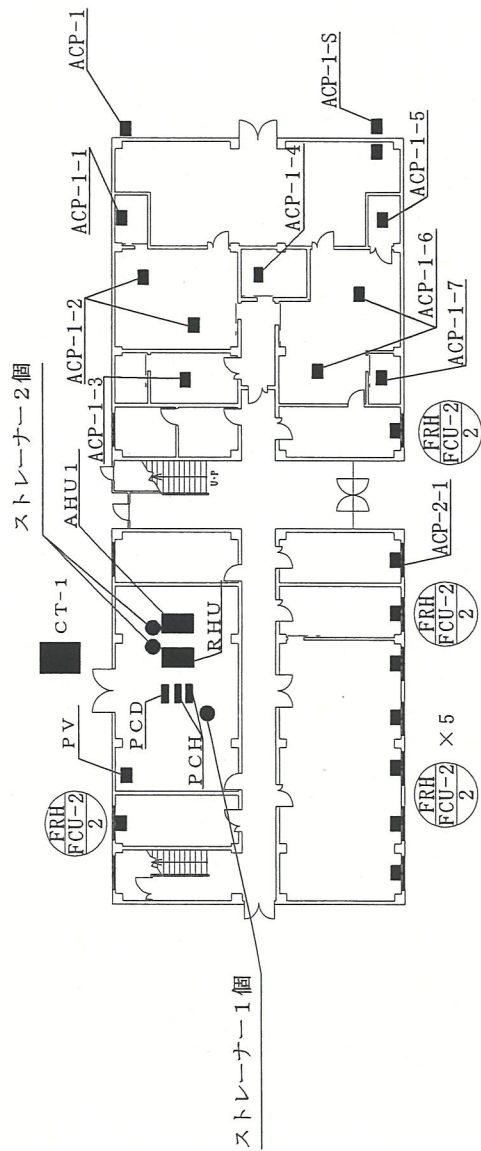


機器一覧表

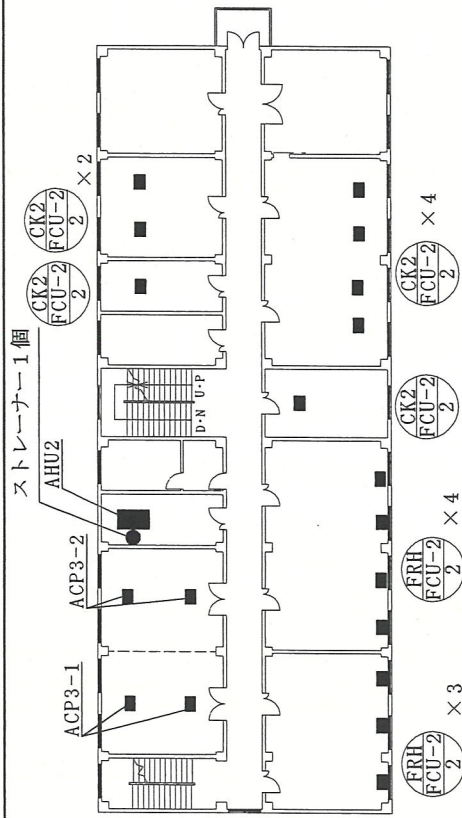
記号	メーカー名	型式等	電源	台数
FRH FCU-3 6	三菱	ファンコイルユニット LH-300FR-C (天井埋込型)	1φ 100V	1
FRH FCU-4 8		ファンコイルユニット LV-400FE-C1 (床置型)	1φ 100V	4
CID FCU-4 8		ファンコイルユニット LH-400FR-C (天井埋込型)	1φ 100V	4
FRH FCU-6 12		ファンコイルユニット LV-600FE-C1 (床置型)	1φ 100V	31
CID FCU-6 12		ファンコイルユニット LH-600FR-C (天井埋込型)	1φ 100V	12
CID FCU-8 16		ファンコイルユニット LV-800FE-C1 (床置型)	1φ 100V	1

件名	空調機保守点検	図面番号	9/37
図面名称	130号建物3階空調設備図	縮尺	1/400
陸上自衛隊金沢駐屯地業務隊管理科			

174号建物1階空調設備図 S=1/400



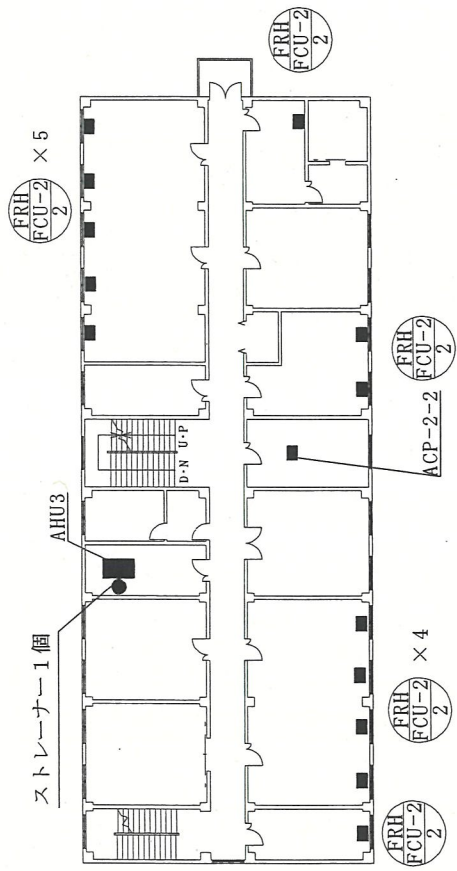
174号建物2階空調設備図 S=1/400



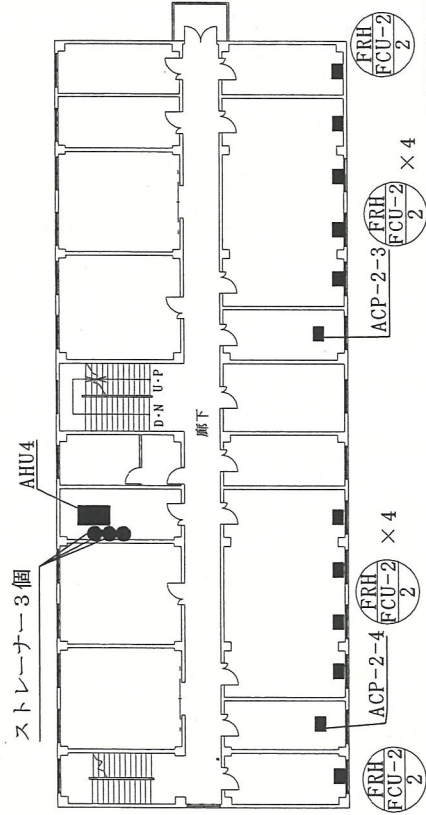
件名	空調機保守点検	図面番号	10/37
図面名称	174号建物1階・2階空調設備図	縮尺	1/400
陸上自衛隊金沢駐屯地業務隊管理科			



174号建物3階空調設備図 S=1/400

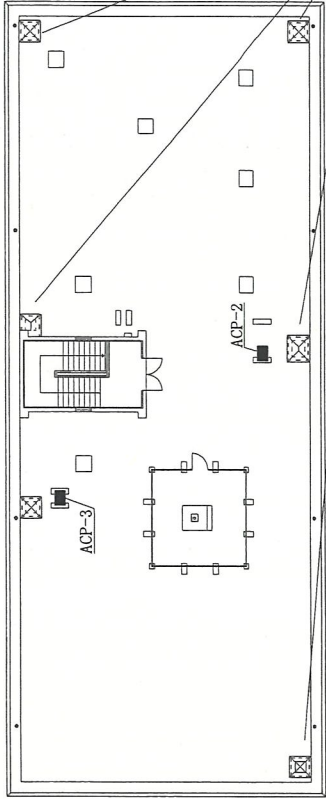


174号建物4階空調設備図 S=1/400



件名	空調機保守点検	図面番号	11/37
図面名称	174号建物3階・4階空調設備図	縮尺	1/400
陸上自衛隊金沢駐屯地業務隊管理科			

174号建物R階空調設備図 S=1/400



ストレーナ及び自動エア抜き弁  
5箇所6個

機器一覧表

記号	メーカー名	型式等	電源	台数
ACP-1	日立	RAS-AP334DC4	3φ200V	1
ACP-1-1	"	RPK-AP22K2	1φ200V	1
ACP-1-2	"	RCI-AP36K6	1φ200V	2
ACP-1-3	"	RCID-AP22K3	1φ200V	1
ACP-1-4	"	RCIS-AP22K2	1φ200V	1
ACP-1-5	"	RPK-AP22K2	1φ200V	1
ACP-1-6	"	RCI-AP71K6	1φ200V	2
ACP-1-7	"	RPK-AP22K2	1φ200V	1
ACP-2	"	RAS-AP160DC4	3φ200V	1
ACP-2-1	"	RCID-AP28K3	1φ200V	1
ACP-2-2	"	RCID-AP22K3	1φ200V	1
ACP-2-3	"	RCID-AP22K3	1φ200V	1
ACP-2-4	"	RCID-AP28K3	1φ200V	1
ACP-3	"	RAS-AP140DG4	3φ200V	1
ACP-3-1	"	RCI-AP36K6	1φ200V	2
ACP-3-2	"	RCI-AP36K6	1φ200V	2
ACP-1-S	"	RP-AP450CKVP	3φ200V	1

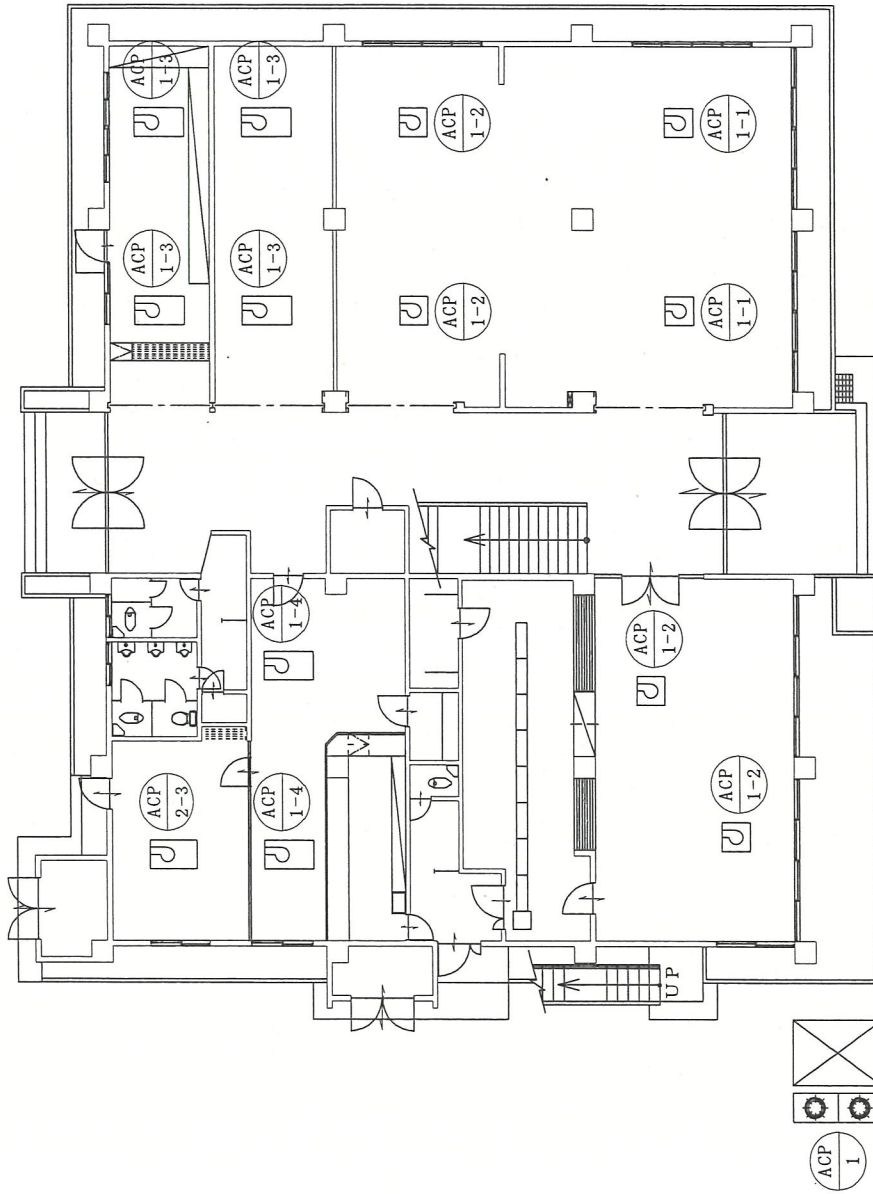
パッケージエアコン

※冷温水ポンプ、冷却水ポンプ及び真空給水ポンプは  
6.(7)に記載している消耗品を交換すること。

件名	空調機保守点検	図面番号	12/37
図面名称	174号建物R階空調設備図	縮尺	1/400

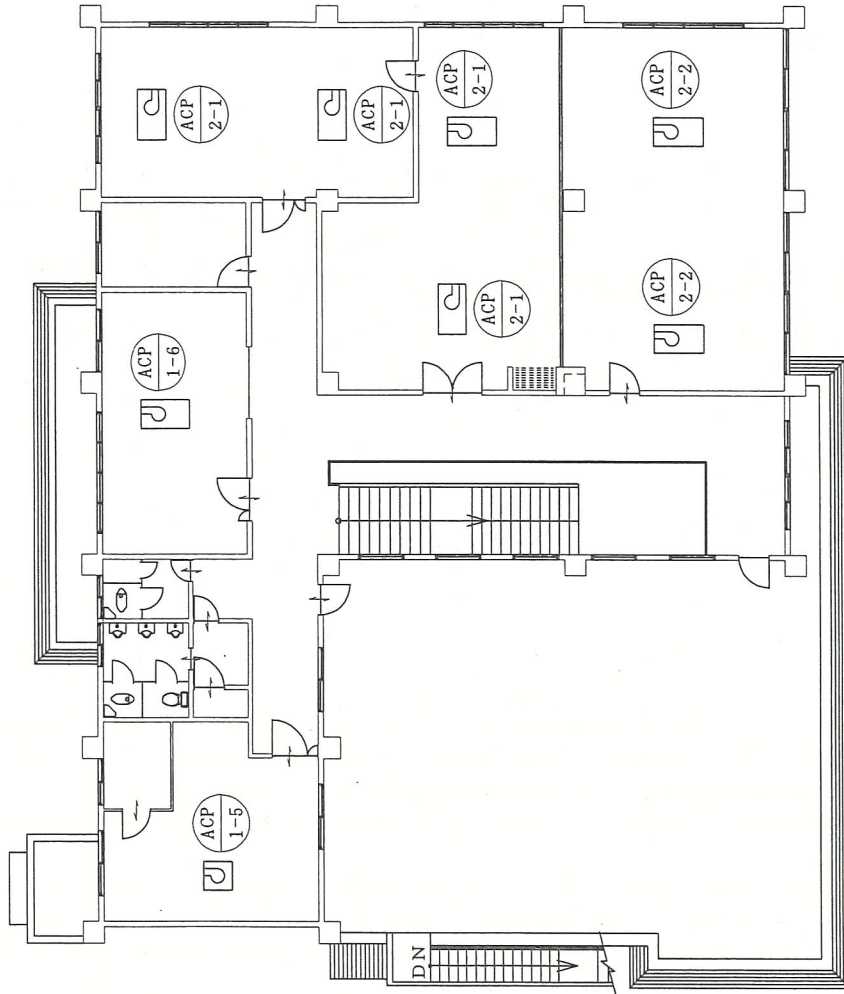
陸上自衛隊金沢駐屯地業務隊管理科

197号建物1階空調設備図 S=1/200



件名	空調機保守点検	図面番号	13/37
図面名称	197号1階建物空調設備図	縮尺	1/200
陸上自衛隊金沢駐屯地業務隊管理科			

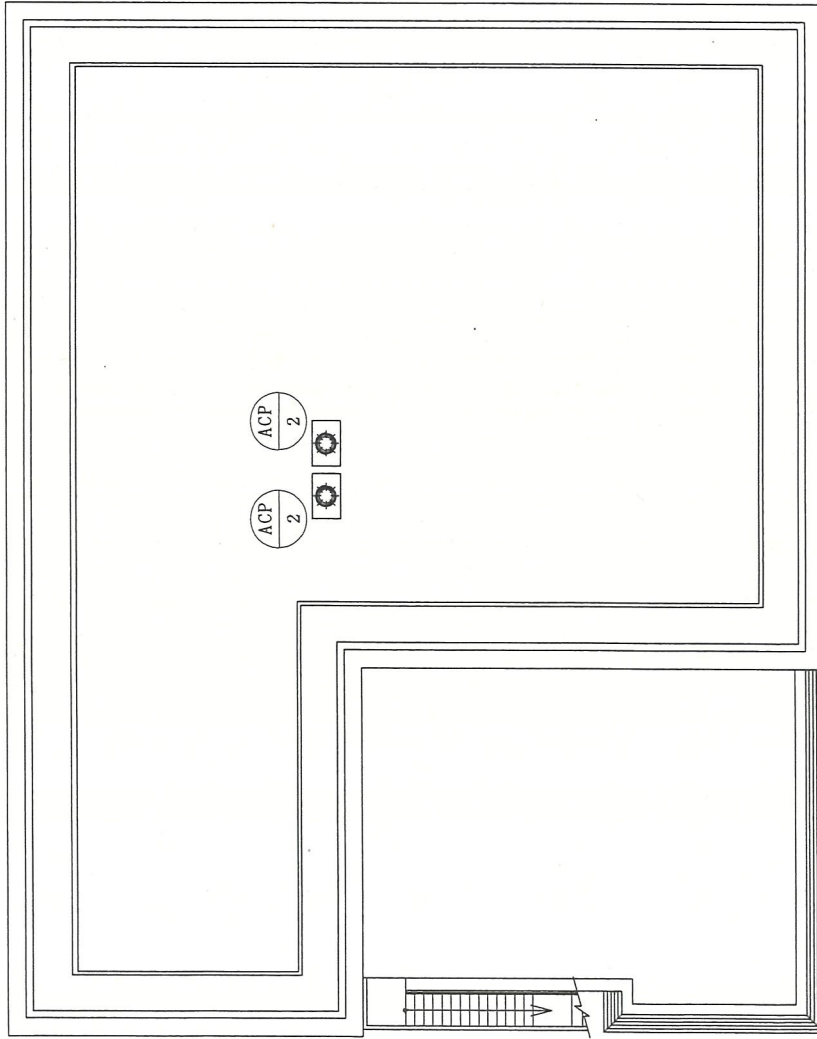
197号建物2階空調設備図 S=1/200



件名	空調機保守点検	図面番号	14/37
図面名称	197号2階建物空調設備図	縮尺	1/200
陸上自衛隊金沢駐屯地業務隊管理科			

197号建物R階空調設備図

S = 1 / 200



機器一覧表

記号	メーカー名	型式等	電源	台数
ACP 1		水蓄熱空調ヒートポンプマルチエアコン RSYP1174P(室外機)	3φ 200V	1
ACP 1-1		水蓄熱空調ヒートポンプマルチエアコン FXYFP90MC(室内機)	1φ 200V	2
ACP 1-2		水蓄熱空調ヒートポンプマルチエアコン FXYFP71MC(室内機)	1φ 200V	4
ACP 1-3	ダイキン	水蓄熱空調ヒートポンプマルチエアコン FXYCP22M(室内機)	1φ 200V	4
ACP 1-4		水蓄熱空調ヒートポンプマルチエアコン FXYCP36M(室内機)	1φ 200V	2
ACP 1-5		水蓄熱空調ヒートポンプマルチエアコン FXYFP56MC(室内機)	1φ 200V	1
ACP 1-6		水蓄熱空調ヒートポンプマルチエアコン FXYCP71M(室内機)	1φ 200V	1

機器一覧表

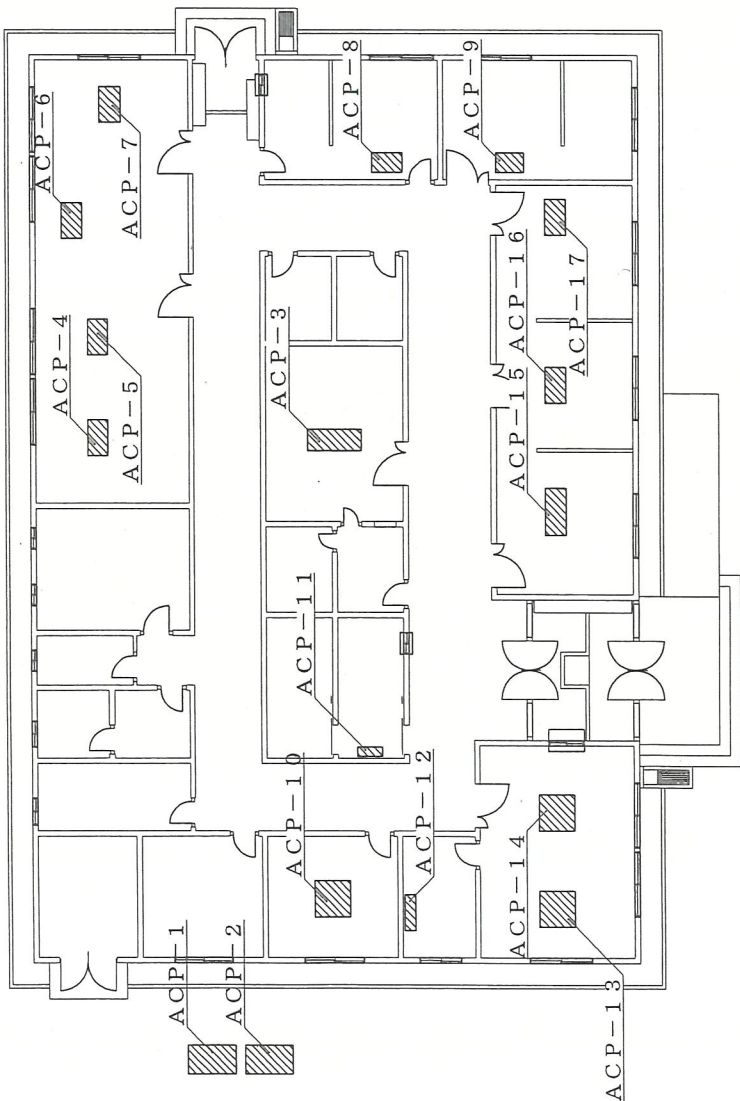
記号	メーカー名	型式等	電源	台数
ACP 2		ビル用マルチエアコン RQYP224B(室外機)	3φ 200V	2
ACP 2-1		ビル用マルチエアコン FXYCP28M(室内機)	1φ 200V	4
ACP 2-2	ダイキン	ビル用マルチエアコン FXYCP36M(室内機)	1φ 200V	2
ACP 2-3		ビル用マルチエアコン FXYCP45M(室内機)	1φ 200V	1

件名	空調機保守点検	図面番号	15 / 37
図面名称	197号R階建物空調設備図	縮尺	1/200
陸上自衛隊金沢駐屯地業務隊管理科			

200号建物1階空調設備図 S=1/200

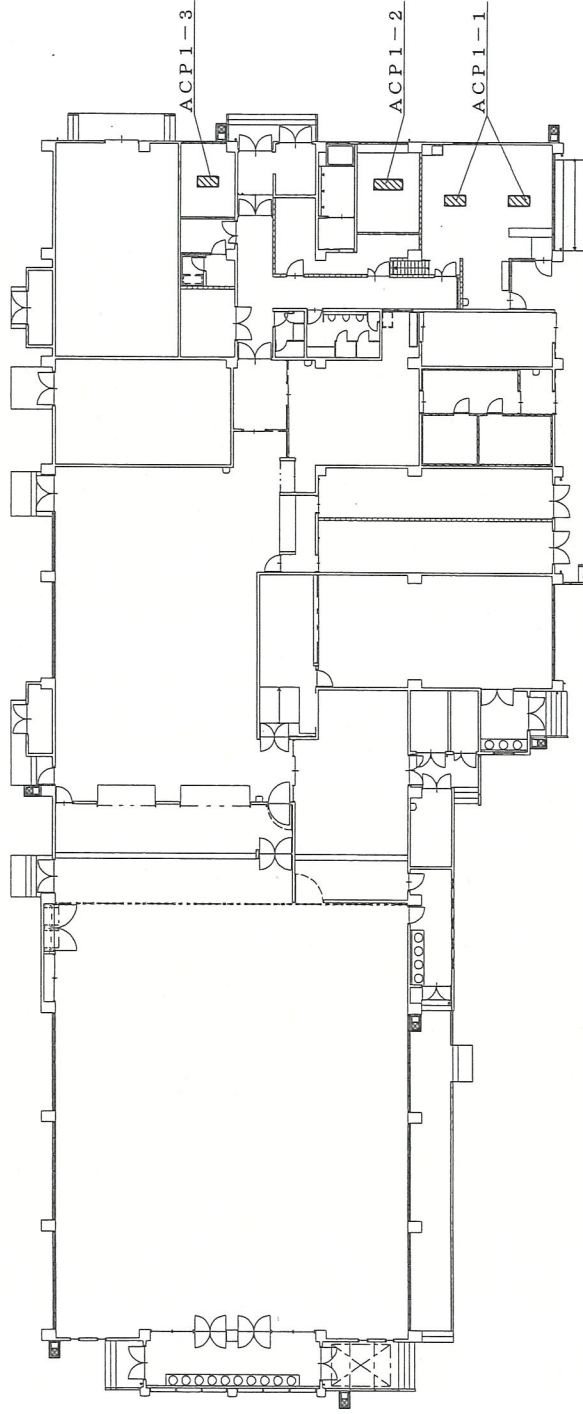
機器一覧表  
ビル用パッケージエアコン

記号	メーカー名	型式	等級	電源	台数
ACP-1	ダイキン	RSXYJ280K	(室外機)	3φ200V	1
ACP-3		FXYCJ80K	(室内機)	1φ200V	1
ACP-4		FXYCJ36K	(室内機)	1φ200V	1
ACP-5		FXYCJ36K	(室内機)	1φ200V	1
ACP-6		FXYCJ36K	(室内機)	1φ200V	1
ACP-7		FXYCJ36K	(室内機)	1φ200V	1
ACP-8		FXYCJ56K	(室内機)	1φ200V	1
ACP-9		FXYCJ45K	(室内機)	1φ200V	1
ACP-10		RSXYJ280K	(室外機)	3φ200V	1
ACP-11	FXYCJ36K	(室内機)	1φ200V	1	
ACP-12	FXYCJ28K	(室内機)	1φ200V	1	
ACP-13	FXYCJ28K	(室内機)	1φ200V	1	
ACP-14	FXYCJ36K	(室内機)	1φ200V	1	
ACP-15	FXYCJ45K	(室内機)	1φ200V	1	
ACP-16	FXYCJ36K	(室内機)	1φ200V	1	
ACP-17	FXYCJ36K	(室内機)	1φ200V	1	



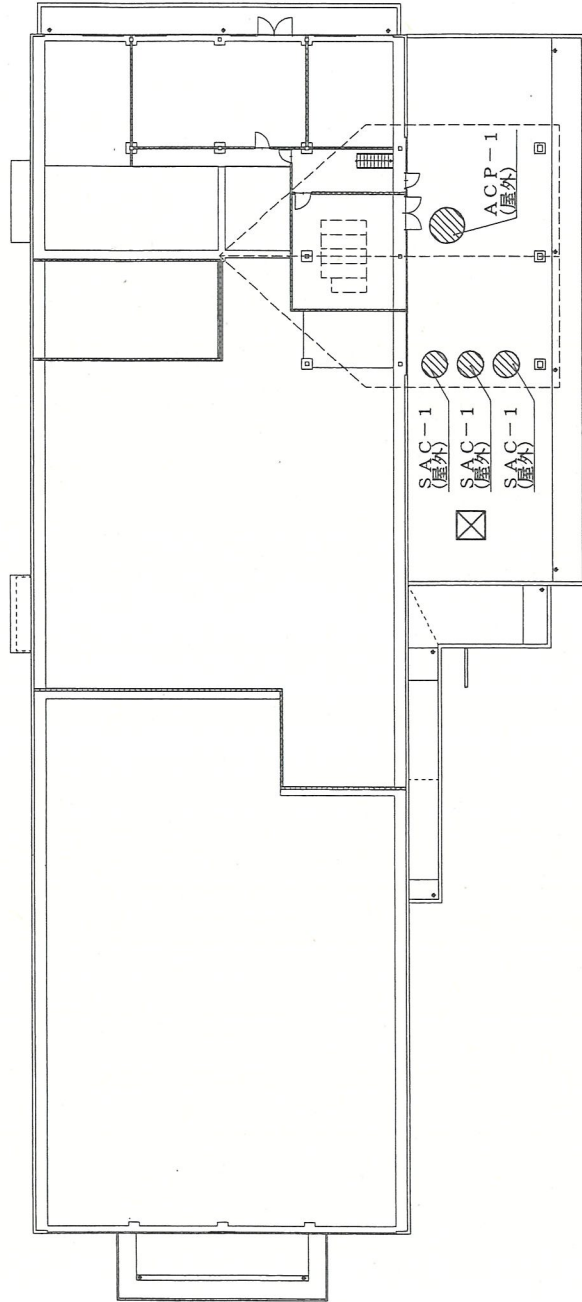
件名	空調機保守点検	図面番号	16/37
図面名称	200号1階建物空調設備図	縮尺	1/200
陸上自衛隊金沢駐屯地業務隊管理科			

205号建物1階空調設備図 S=1/400



件名	空調機保守点検	図面番号	17/37
図面名称	205号建物1階空調設備図	縮尺	1/400
陸上自衛隊金沢駐屯地業務隊管理科			

205号建物2階空調設備図 S=1/400



ビル用パッケージエアコン

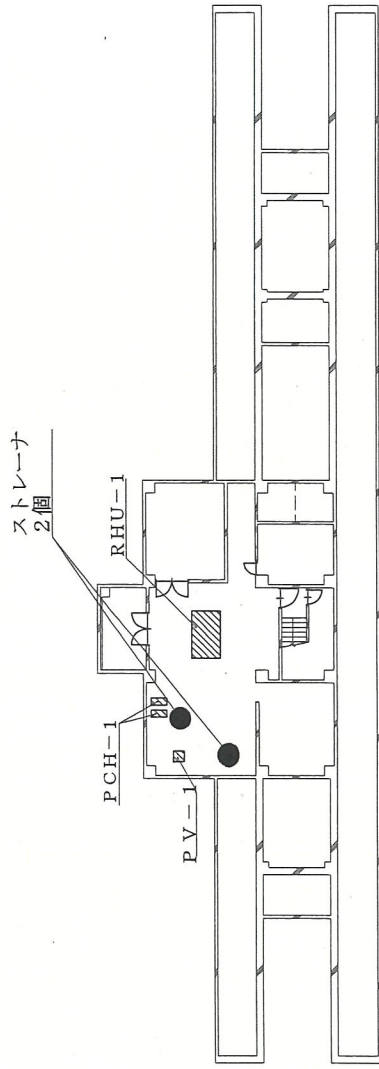
B系統

記号	メーカー名	型式等	電源	台数
ACP-1		PUHY-J280M-B1	3φ200V	1
ACPI-1		PLFY-J56LMD-B1	1φ200V	2
ACPI-2	三菱電機	PLFY-J71LMD-B1	1φ200V	1
ACPI-3		PLFY-J45LMD-B1	1φ200V	1
SAC-1	スボットエフソ MDC-80TA-L-ST		1φ200V	3

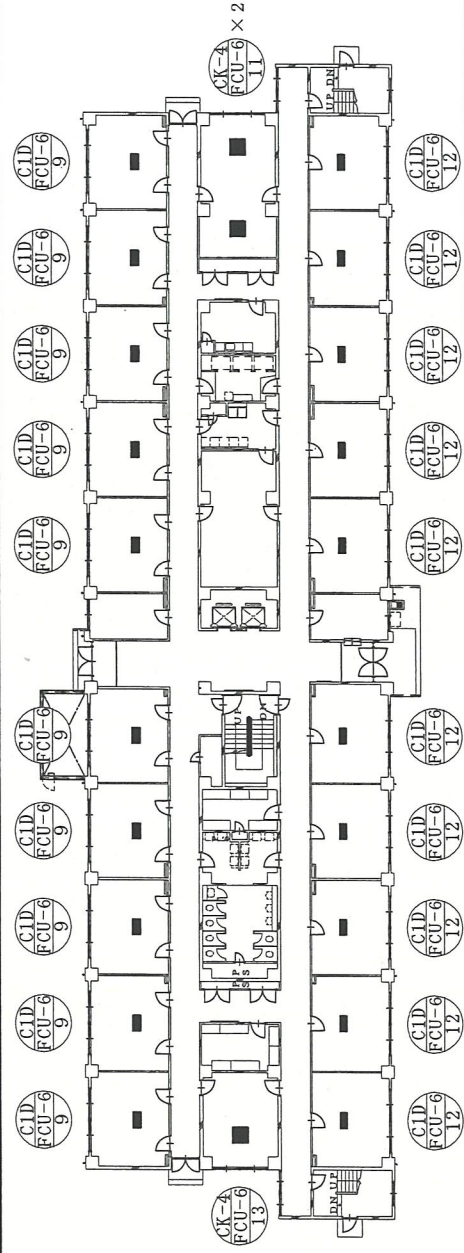
件名	空調機保守点検	図面番号	18/37
図面名称	205号建物2階空調設備図	縮尺	1/400
陸上自衛隊金沢駐屯地業務隊管理科			



209号建物地下空調設備図 S=1/450

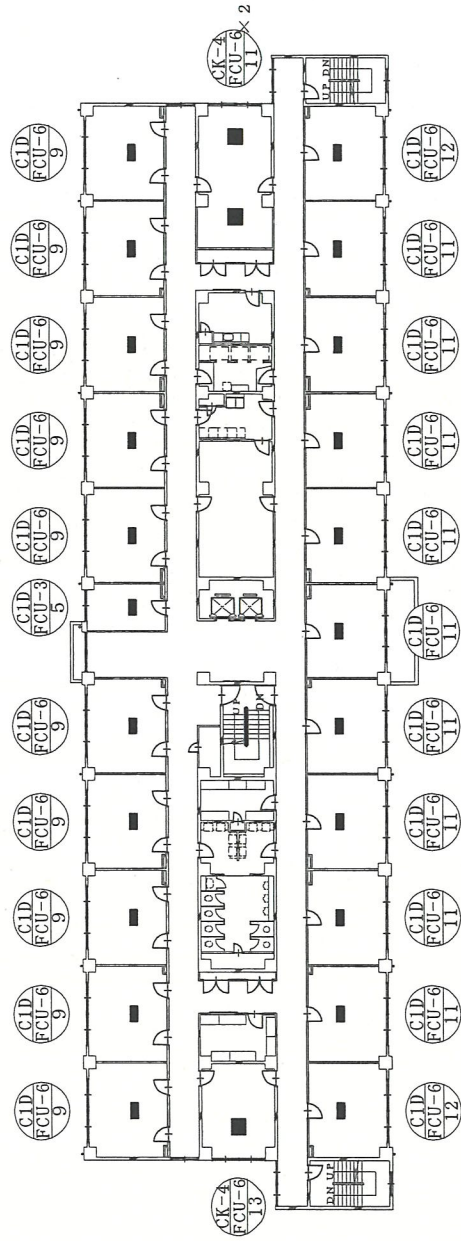


209号建物1階空調設備図 S=1/450



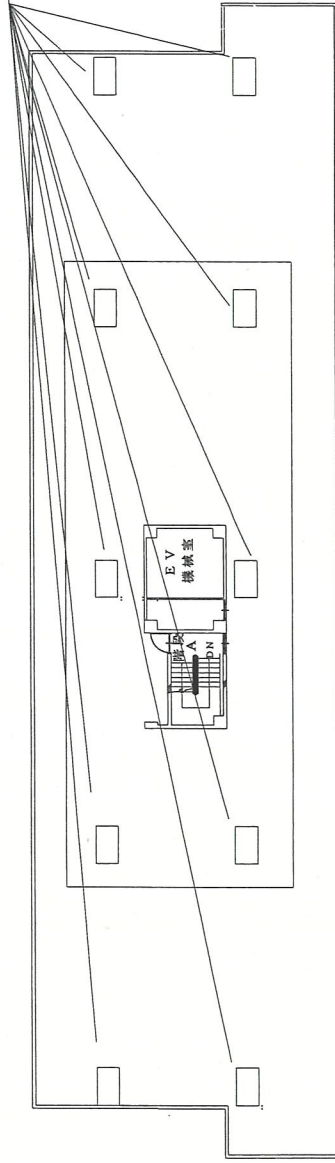
件名	空調機保守点検	図面番号	19/37
図面名称	209号建物地下・1階空調設備図	縮尺	1/450
陸上自衛隊金沢駐屯地業務隊管理科			

209号建物2～5階空調設備図 S=1/450



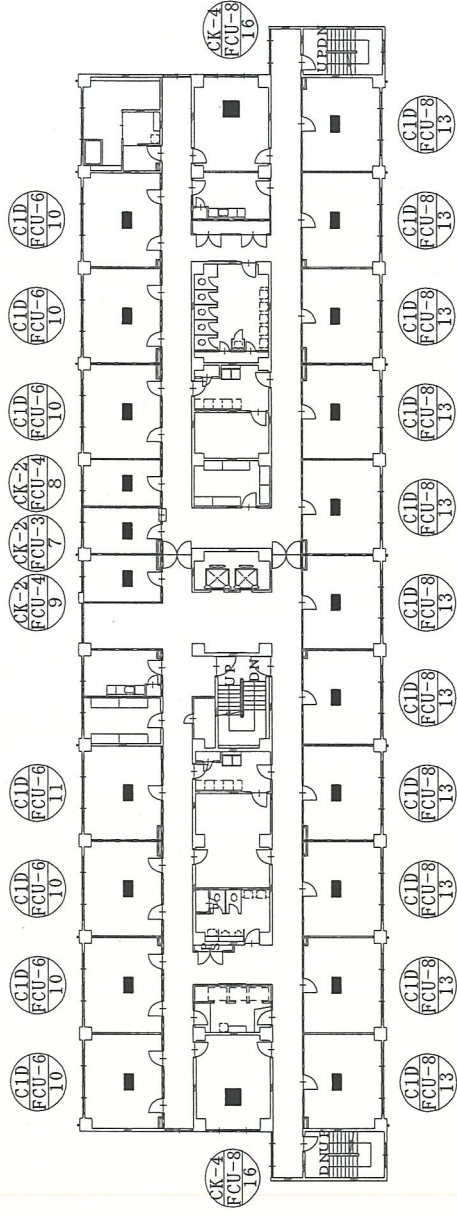
209号建物R階空調設備図 S=1/450

ストレーナ及び自動エア抜き弁  
10箇所16個



件名	空調機保守点検	図面番号	20/37
図面名称	209号建物2～5階・R階空調設備図	縮尺	1/450
陸上自衛隊金沢駐屯地業務隊管理科			

209号建物6階空調設備図 S=1/450



機器一覧表

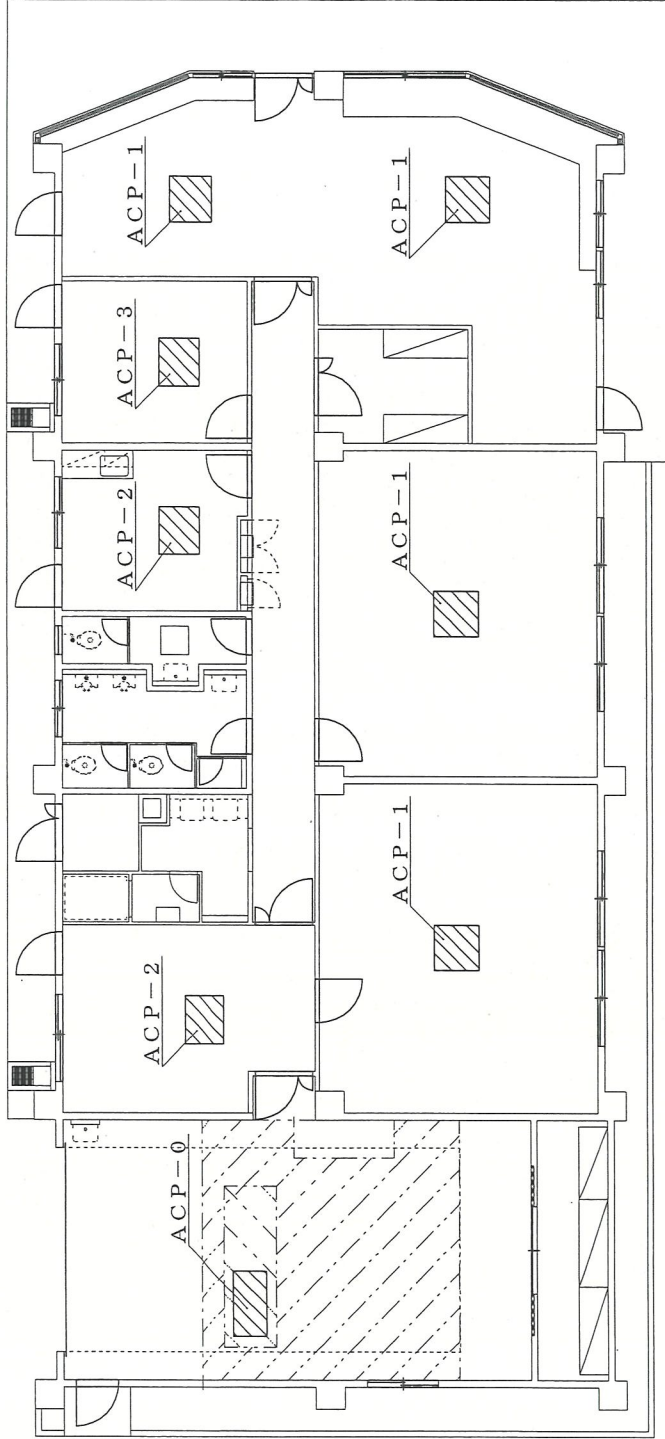
記号	メーカー名	型式等	電源	台数
CK-2 FCU-3 水量		ファンコイルユニット CSR-CX31V (天埋型)	1φ 100V	1
CK-2 FCU-4 水量		ファンコイルユニット CSR-CX42V (天埋型)	1φ 100V	2
CK-4 FCU-6 水量		ファンコイルユニット CSR-CH60-B (天埋型)	1φ 100V	15
CK-4 FCU-8 水量	昭和鉄工	ファンコイルユニット CSR-CH80-B (天埋型)	1φ 100V	2
CID FCU-3 水量		ファンコイルユニット CSR-31N2V (天吊隠蔽型)	1φ 100V	4
CID FCU-6 水量		ファンコイルユニット CSR-62N2V (天吊隠蔽型)	1φ 100V	11
CID FCU-8 水量		ファンコイルユニット CSR-84N2V (天吊隠蔽型)	1φ 100V	11

記号	メーカー名	型式等	電源	台数
RHU-1	矢崎総業	冷温水機ユニット (195kW) CH-V100ST	3φ 200V	1
PCH-1	住原	冷温水ポンプ 80×65FS2F67.5	3φ 200V	2
PV-1		真空給水ポンプ No. 4 AC2K	3φ 200V	1

※冷温水ポンプ及び真空給水ポンプは6.(7)に記載した消耗品を交換すること。

件名	空調機保守点検	図面番号	21/37
図面名称	209号建物6階空調設備図	縮尺	1/450
陸上自衛隊金沢駐屯地業務隊管理科			

215号建物空調設備図 S=1/150

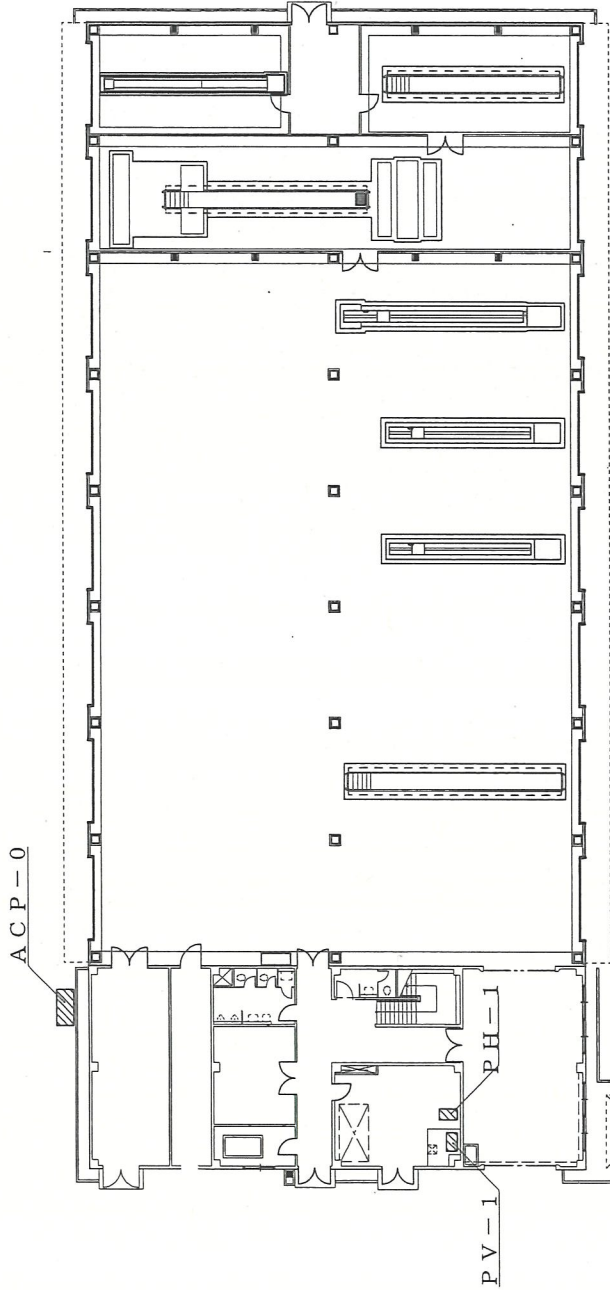


機器一覧表

記号	名称	型式	等級	電源	台数
ACP-0		RQYP400C	(室外機)	3φ200V	1
ACP-1	ダイキン	FXYFP56MD	(室内機)	1φ200V	4
ACP-2		FXYCP36MA	(室内機)	1φ200V	2
ACP-3		FXYCP22MA	(室内機)	1φ200V	1

件名	空調機保守点検	図面番号	22/37
図面名称	215号建物空調設備図	縮尺	1/150
陸上自衛隊金沢駐屯地業務隊管理科			

216号建物1階空調設備図 S=1/400



機器一覧表

記号	メーカー名	型式等	電源	台数
PH-1		温水ポンプ 60×50FS4H63.7	3φ200V	1
PV-1	住原	真空給水ポンプ NO. 2ACK6	3φ200V	1

※温水ポンプ及び真空給水ポンプは、6(7)に記載した消耗品を交換すること。

件名	空調機保守点検	図面番号	23/37
図面名称	216号建物1階空調設備図	縮尺	1/400
陸上自衛隊金沢駐屯地業務隊管理科			

1 174号建物  
(1) 吸収式冷温水機

点検項目	点検及び保守点検内容	冷房	暖房
1 基礎・固定部	亀裂、沈下等の異常の有無 固定金具の劣化、固定ボルトの緩み点検	●	●
2 外観状況	腐食、変形、破損等の劣化の有無	●	●
3 動力盤	冷房及び暖房の切替の確認 絶縁抵抗を測定し、その値が1MΩ以上あるか確認 作動の良否点検	●	●
4 機内盤及び遠隔操作版	作動の良否点検	●	●
5 付属弁	弁の開閉の良否点検	●	●
6 冷温水及び冷却水系統	出口及び入口の圧力損失が規定値にあるか確認 各水室部に水漏れがないか確認 冷却水系統の水抜き確認	●	●
7 電気系統			
ア 絶縁測定	操作回路等の絶縁抵抗を500V絶縁抵抗計を用いて測定し、その値が1MΩ以上あるか確認 ただし、低電圧回路(24V以下)は除外する。	●	●
イ 端子	緩み、変色及び破損の有無 所定の設備値で作動するか確認	●	●
8 保安装置			
ア 保護スイッチ	冷水過冷却、断水、液面リレーその他のスイッチの作動の良否点検	●	●
イ インターロック	冷水及び冷却水ポンプその他のインターロックの作動の良否点検	●	●
9 運転調整			
ア 音及び振動	異常の有無	●	●
イ 電流及び電圧	運転時に主電源電圧の変動が定格以内にあるか確認 運転電流が定格以下であるか確認	●	●
ウ 温度制御	設定温度で確実に作動するか確認	●	●
エ 電動機	回転方向が正回転であるか確認	●	●
オ 熱交換器	冷水及び冷却水の入口温度と出口温度、溶液温度、溶液濃度、凝縮温度等を測定し、その値が許容範囲内にあるか確認 不凝縮ガスの混入及び冷却塔の汚れの有無 スケール付着の有無	●	●
10 真空気密	抽気ポンプで機内の不凝縮ガスを採取し、規定値以下にあるか確認し、規定値以下であれば真空引きを実施し正常値に戻す。 パラジウムセル部の焼損及び劣化度の確認	●	●
11 冷媒及び吸収剤	攪拌した溶液を適量採取し、腐食防止剤濃度及びアルカリ度が規定の許容範囲内にあるか確認し、範囲外であれば、薬剤を投入し正常範囲内に戻す 溶液に汚れがないか確認	●	●

(2) クーリングタワー

点検項目	点検及び保守点検内容	冷房	暖房
1 基礎	亀裂、沈下等の異常の有無 基礎ボルトの緩み及び劣化の有無 防振装置の損傷等の劣化の有無 防振装置ストッパーの緩み及び劣化の有無	●	●
2 塔本体			
ア ケーシング	損傷、変形及び汚れの有無	●	●
イ 散水装置	損傷、変形、錆及び汚れの有無 散水穴の目詰まりの有無 散水管の回転が円滑か確認	●	●
ウ エリミネーター	損傷、変形及び目詰まりの有無	●	●
エ ルーパー	損傷、変形及び目詰まりの有無	●	●
オ 充填材	スケール等の異物の付着状況の点検・除去 目詰まりの有無 座屈、変形の劣化の有無	●	●
カ 骨組み及び脚	損傷、変形及び腐食の劣化の有無 固定金具の劣化、組立ボルトの緩み点検	●	●
キ 梯子及び点検扉	損傷、変形及び腐食等の劣化の有無	●	●
3 水槽			
ア 本体	内外面の損傷、変形及び汚れの有無 水漏れの確認 水位が規定の位置にあるか確認	●	●
イ 給水装置	ボールタップ等が確実に作動するか確認	●	●
ウ ストレーナー	目詰まり及び損傷等の劣化の有無及び清掃	●	●
エ フレキシブルジョイント	接合部の緩み、腐食等の有無	●	●

4 送風機			
ア 羽根車	損傷、腐食等の劣化及び汚れの有無	●	
	回転に支障がないか確認	●	
イ ファンケーシング	損傷、腐食等の劣化の有無	●	
ウ 軸受	輪が円滑に回転するか確認	●	
	油量の適否点検	●	
エ 電動機	損傷、腐食等の劣化の有無	●	
	円滑に回転するか確認	●	
	絶縁抵抗値を測定し、その値が1MΩ以上あるか確認	●	
オ ベルト	張り具合の適否点検	●	
	損傷及び摩耗の有無	●	
	Vベルトの取替	●	
カ プーリー	損傷、摩耗等の劣化の有無	●	
キ 潤滑油	油量の適否点検	●	
5 凍結防止装置	サーモスタットが設定値で確実に作動するか確認	●	
	ヒータの作動電流が定格電流以下にあるか確認	●	
	ヒータの絶縁抵抗値を測定し、その値が1MΩ以上あるか確認	●	
6 屋外冷却水管	フィルター清掃	●	
7 運転調整	電動機の回転方向が正回転であるか確認	●	
	異音及び振動の異常の有無	●	
	電源電圧の変動が定格以内にあるか確認	●	
	運転電流が定格値以下にあるか確認	●	
	散水管の回転数が許容範囲内にあるか確認	●	
	散水が均一に分散しているか確認	●	
	水槽の水位が運転前、運転後の状態で正しいか確認	●	

## (3) 冷温水ポンプ

点検項目	点検及び保守点検内容	冷房	暖房
I 基礎・固定部	固定金具の劣化、固定ボルトの緩み点検	●	●
	防振材、ストッパー等の劣化、緩みの有無	●	●
2 本体	腐食、損傷及び漏洩の有無	●	●
	軸継手ゴム（ベルト）の損傷等の劣化の有無	●	●
	軸継手の芯狂いが許容範囲内にあるか確認	●	●
	主電源電圧の変動が運転時に定格電圧以内にあるか確認	●	●
	運転電流が定格値以下にあるか確認	●	●
	ポンプの吸込み圧力及び吐出し圧力が許容範囲内にあるか確認	●	●
	グランドパッキン取替（年1回）	●	●
3 電動機	腐食及び損傷の有無	●	●
	円滑に回転するか確認	●	●
	回転方向が正回転であるか確認	●	●
	絶縁抵抗を測定し、その値が1MΩ以上あるか確認	●	●
4 フード弁及び逆止弁	開閉状態の良否点検	●	●
5 圧力計、連成計又は真空計	腐食及び損傷の有無	●	●
	指示値に狂いがいるか確認	●	●

## (4) 冷却水ポンプ

点検項目	点検及び保守点検内容	冷房	暖房
1 基礎・固定部	固定金具の劣化、固定ボルトの緩みの点検	●	
	防振材、ストッパー等の劣化、緩みの有無	●	
2 本体	腐食、損傷及び漏洩の有無	●	
	軸継手ゴム（ベルト）の損傷等の劣化の有無	●	
	軸継手の芯狂いが許容範囲内にあるか確認	●	
	主電源電圧の変動が運転時に定格電圧以内にあるか確認	●	
	運転電流が定格値以下にあるか確認	●	
	ポンプの吸込み圧力及び吐出し圧力が許容範囲内にあるか確認	●	
	グランドパッキン取替（年1回）	●	
3 電動機	腐食及び損傷の有無	●	
	円滑に回転するか確認	●	
	回転方向が正回転であるか確認	●	
	絶縁抵抗を測定し、その値が1MΩ以上あるか確認	●	
4 フード弁及び逆止弁	開閉状態の良否点検	●	
5 圧力計、連成計又は真空計	腐食及び損傷の有無	●	
	指示値に狂いがいるか確認	●	

## (5) 真空給水ポンプ

点検項目	点検及び保守点検内容	冷房	暖房
I 基礎・固定部	固定金具の劣化、固定ボルトの緩み点検	●	●
	防振材、ストッパー等の劣化、緩みの有無	●	●

2 本体	腐食、損傷及び漏洩の有無	●	●	
	軸継手ゴム（ベルト）の損傷等の劣化の有無	●	●	
	軸継手の芯狂いが許容範囲内にあるか確認	●	●	
	主電源電圧の変動が運転時に定格電圧以内にあるか確認	●	●	
	運転電流が定格値以下にあるか確認	●	●	
	ポンプの吸込み圧力及び吐出し圧力が許容範囲内にあるか確認	●	●	
	グランドパッキン取替（年1回）	●	●	
3 電動機	腐食及び損傷の有無	●	●	
	円滑に回転するか確認	●	●	
	回転方向が正回転であるか確認	●	●	
	絶縁抵抗を測定し、その値が1MΩ以上あるか確認	●	●	
4 フード弁及び逆止弁	開閉状態の良否点検	●	●	
5 圧力計、連成計又は真空計	腐食及び損傷の有無	●	●	
6 制御機器	指示値に狂いがないか確認	●	●	
	ア 制御盤	電磁開閉器の接点の劣化の有無	●	●
	イ 真空開閉器・水位開閉器	作動の良否点検	●	●
	ウ 電磁弁装置	作動の良否点検	●	●

## (6) エアハンドリングユニット

点検項目	点検及び保守点検内容	冷房	暖房
1 基礎・固定部	亀裂、沈下等の異常の有無	●	●
	固定金具の劣化、固定ボルトの緩みの点検	●	●
2 外観の状況			
ア 本体及び点検口	発錆、腐食、変形、破損等の劣化の有無	●	●
イ フィルタ	詰まりや損傷等の有無、フィルタ及びフィルター室清掃	●	●
ウ 保温材	破損の有無	●	●
3 熱交換エレメント			
ア 軸受	音・振動等の異常の有無、異常がある場合は、ベアリング取替もしくはグリースの注入を実施	●	●
イ エレメント	詰まりや損傷等の劣化の有無	●	●
ウ エアシール	回転バランスの良否点検	●	●
エ 駆動装置	異常摩耗や損傷等の有無	●	●
オ 駆動装置	ベルト（チェーン）に緩み及び損傷等の劣化の有無、異常がある場合はベルト（チェーン）の取替	●	●
オ ケーシング	汚れ、発錆及び腐食等の有無	●	●
4 電気系統			
ア 電気電圧	電圧の変動が定格値以内にあるか確認	●	●
イ ギアードモーター	絶縁抵抗を測定し、その値が1MΩ以上あるか確認	●	●
	モーター表面温度の異常の有無	●	●
	電流が定格値以内であるか確認	●	●
	オイルシールの油漏れの有無	●	●
ウ リレー	作動の良否点検	●	●
エ 端子類	緩み、変色及び溶損等の有無	●	●
オ 点検用ランプ	点灯点検及び点灯しない場合は交換	●	●

## (7) ファンコイルユニット

点検項目	点検及び保守点検内容	冷房	暖房
1 外観の状況			
ア 本体	腐食、変形、破損等の劣化の有無	●	●
	固定金具、固定ボルトの緩み、変形、腐食等の点検	●	●
	破損の有無	●	●
イ 保温・保温材	破損の有無	●	●
ウ 吹出しグリル	汚れ、破損等の劣化の有無	●	●
2 送風機			
ア ファンライナ	汚れ、発錆、腐食及び変形等の有無	●	●
	回転バランスの良否点検	●	●
イ 電動機	音、振動等の異常の有無	●	●
	絶縁抵抗を測定し、その値が1MΩ以上あるか確認	●	●
	回転がスムーズであるか確認	●	●
ウ 音、振動	異常でないか確認	●	●
3 熱交換器	冷水水コイルの破損や腐食の有無	●	●
4 排水系統			
ア ドレンパン	汚れ、発錆及び腐食等の有無の確認及び清掃	●	●
イ ドレンの排水	本体ドレン排水確認を行い、支障がないか確認・清掃	●	●
5 エアフィルタ			
ア ろ材	汚れ、損傷等の劣化の有無の確認・清掃	●	●
イ 枠	損傷等の劣化の有無	●	●
6 電装部品			
ア 電気配線	損傷、過熱、劣化の有無	●	●
イ 接続端子	端子接続の緩みの有無	●	●
ウ 操作スイッチ	損傷、破損の有無	●	●
	表示灯の点灯状況確認	●	●
運転表示灯	風量切替え等の作動の良否点検	●	●



7	止め弁・流量調整弁	損傷、破損の有無 エア抜き弁、ドレン抜き弁の良否点検及び清掃	●	●
8	温度測定	各居室等の吹出し口及び吸込み口の測定	●	●
(8)	ビル用パッケージエアコン			
	点検項目	点検及び保守点検内容	冷房	暖房
1	基礎・固定部	亀裂、沈下等の異常の有無 固定金具の劣化、固定ボルトの緩み点検 防振材、ストッパー等の劣化及び緩みの有無	●	●
2	外観の状況	腐食、変形、破損等の劣化の有無	●	●
3	加湿器給水	給水支弁の開閉確認	●	●
4	排水系統			
	ア ドレンパン	汚れ、発錆及び腐食等の有無	●	●
	イ ドレン排水	本体のドレン排水確認を行い、支障がないか確認	●	●
5	冷暖房切替え	補助電気モーター、加湿器の電源遮断をするとともに自動制御機器の切替え、作動確認を確実に実施	●	●
6	電気系統			
	ア 操作・動力回路	絶縁抵抗を測定し、その値が1MΩ以上あるか確認	●	●
	イ 端子	緩み、変色及び破損の有無	●	●
	ウ 操作盤	汚れ、異物の付着及び変形の有無	●	●
	エ クランクケースヒーター	通電、発熱状態の異常の有無	●	●
7	送風機			
	ア Vベルト	緩み、亀裂及び摩耗等の劣化の有無	●	●
	イ 軸受	音、振動等の異常の有無	●	●
	ウ シロッコファン・プロペラファン	汚れ、損傷等の劣化の有無	●	●
8	エアフィルタ			
	ア ろ材	詰まり及び損傷等の劣化の有無の確認及び清掃	●	●
	イ 枠	変形及び腐食等の劣化の有無	●	●
9	冷媒系統	ガス漏れの有無 配管の損傷等の劣化の有無	●	●
10	熱交換器	ファンコイルの汚れ及び損傷等の劣化の有無	●	●
11	加湿器	汚れ及び損傷等の劣化の有無	●	●
12	保温装置			
	ア インターロック	室内送風機運転と補助電機ヒーター通電の作動の良否点検	●	●
	イ 圧力開閉器	高低圧開閉器の設定値での作動の良否点検 油圧保護開閉器の設定値での作動の良否点検	●	●
	ウ 可溶栓	ガス漏れや変形の確認	●	●
	エ 温度ヒューズ	溶断、変形及び変色の有無	●	●
	オ 過熱防止器	作動の良否点検	●	●
	カ 圧力計	圧力計の精度点検	●	●
13	自動制御機器	温度調整器、湿度調整器、タイマー制御、容量制御等が設定値で確実に作動するか確認	●	●
14	運転調整			
	ア 電源電圧	供給電源電圧の異常確認 運転時の電圧変動が定格以内にあるか確認	●	●
	イ 運転電流	主電流及び圧縮機電流が定格以下にあるか確認 補助電機ヒーターの電流が定格値にあるか確認	●	●
	ウ 冷凍機油	損傷劣化及び油量の適否確認	●	●
	エ 熱交換状況	冷媒の液温、室内外機吹出し空気の温度等点検	●	●
	オ 除霜装置	検知作動並びに四方弁作動の良否確認	●	●
	カ 音、振動	異常の有無	●	●
15	温度測定	各居室等の吹出し口及び吸込み口の測定	●	●

2 119号建物  
 (1) 冷温水ポンプ

点検項目	点検及び保守点検内容	冷房	暖房
1 基礎・固定部	固定金具の劣化、固定ボルトの緩み点検 防振材、ストッパー等の劣化、緩みの有無		●
2 本体	腐食、損傷及び漏洩の有無 軸継手ゴム（ベルト）の損傷等の劣化の有無 軸継手の芯狂いが許容範囲内にあるか確認 主電源電圧の変動が運転時に定格電圧以内にあるか確認 運転電流が定格値以下にあるか確認 ポンプの吸込み圧力及び吐出し圧力が許容範囲内にあるか確認 グラウンドパッキン取替（年1回）		●
3 電動機	腐食及び損傷の有無 円滑に回転するか確認 回転方向が正回転であるか確認 絶縁抵抗を測定し、その値が1MΩ以上あるか確認		●
4 フード弁及び逆止弁	開閉状態の良否点検		●
5 圧力計、連成計又は真空計	腐食及び損傷の有無 指示値に狂いがないか確認		●

## (2) 真空給水ポンプ

点検項目	点検及び保守点検内容	冷房	暖房
1 基礎・固定部	固定金具の劣化、固定ボルトの緩み点検 防振材、ストッパー等の劣化、緩みの有無		●
2 本体	腐食、損傷及び漏洩の有無 軸継手ゴム（ベルト）の損傷等の劣化の有無 軸継手の芯狂いが許容範囲内にあるか確認 主電源電圧の変動が運転時に定格電圧以内にあるか確認 運転電流が定格値以下にあるか確認 ポンプの吸込み圧力及び吐出し圧力が許容範囲内にあるか確認 グラウンドパッキン取替（年1回）		●
3 電動機	腐食及び損傷の有無 円滑に回転するか確認 回転方向が正回転であるか確認 絶縁抵抗を測定し、その値が1MΩ以上あるか確認		●
4 フード弁及び逆止弁	開閉状態の良否点検		●
5 圧力計、連成計又は真空計	腐食及び損傷の有無 指示値に狂いがないか確認		●
6 制御機器			
ア 制御盤	電磁開閉器の接点の劣化の有無 表示ランプの点灯の良否点検		●
イ 真空開閉器・水位開閉器	作動の良否点検		●
ウ 電磁弁装置	作動の良否点検		●

## (3) ファンコイルユニット

点検項目	点検及び保守点検内容	冷房	暖房
1 外観の状況			
ア 本体	腐食、変形、破損等の劣化の有無 固定金具、固定ボルトの緩み、変形、腐食等の点検		●
イ 保温・保温材	破損の有無		●
ウ 吹出しダクト	汚れ、破損等の劣化の有無		●
2 送風機			
ア ファンライナ	汚れ、発錆、腐食及び変形等の有無 回転バランスの良否点検		●
イ 電動機	音、振動等の異常の有無 絶縁抵抗を測定し、その値が1MΩ以上あるか確認 回転がスムーズであるか確認		●
ウ 音、振動	異常でないか確認		●
3 熱交換器	冷温水コイルの破損や腐食の有無		●
4 排水系統			
ア ドレンパン	汚れ、発錆、腐食等の有無の確認・清掃		●
イ ドレンの排水	本体ドレン排水確認を行い、支障がないか確認・清掃		●
5 エアフィルタ			
ア ろ材	汚れ、損傷等の劣化の有無の確認・清掃		●
イ 枠	損傷等の劣化の有無		●
6 電装部品			
ア 電気配線	損傷、過熱、劣化の有無		●
イ 接続端子	端子接続の緩みの有無		●
ウ 操作スイッチ・運転表示灯	損傷、破損の有無 表示灯の点灯状況確認 風量切替え等の作動の良否点検		●
7 止め弁・流量調整弁	損傷、破損の有無 エア抜き弁、ドレン抜き弁の良否点検、清掃		●
8 温度測定	各居室の吹出し口及び吸込み口の測定		●

## 3 130号建物

## (1) ファンコイルユニット

点検項目	点検及び保守点検内容	冷房	暖房
1 外観の状況			
ア 本体	腐食、変形、破損等の劣化の有無 固定金具、固定ボルトの緩み、変形、腐食等の点検		●
イ 保温・保温材	破損の有無		●
ウ 吹出しグリル	汚れ、破損等の劣化の有無		●
2 送風機			
ア ファンライナ	汚れ、発錆、腐食及び変形等の有無 回転バランスの良否点検		●
イ 電動機	音、振動等の異常の有無 絶縁抵抗を測定し、その値が1MΩ以上あるか確認 回転がスムーズであるか確認		●
ウ 音、振動	異常でないか確認		●
3 熱交換器	冷温水コイルの破損や腐食の有無		●
4 排水系統			
ア ドレンパン	汚れ、発錆、腐食等の有無の確認・清掃		●
イ ドレンの排水	本体ドレン排水確認を行い、支障がないか確認・清掃		●
5 エアフィルタ			
ア ろ材	汚れ、損傷等の劣化の有無の確認・清掃		●
イ 枠	損傷等の劣化の有無		●
6 電装部品			
ア 電気配線	損傷、過熱、劣化の有無		●
イ 接続端子	端子接続の緩みの有無		●
ウ 操作スイッチ・運転表示灯	損傷、破損の有無 表示灯の点灯状況確認 風量切替え等の作動の良否点検		●
7 止め弁・流量調整弁	損傷、破損の有無 エア抜き弁、ドレン抜き弁の良否点検、清掃		●
8 温度測定	各居室の吹出し口及び吸込み口の測定		●

## 4 197号建物

## (1) 氷蓄熱空冷ヒートポンプエアコン

点検項目	点検及び保守点検内容	冷房	暖房
1 基礎・固定部	亀裂、沈下等の異常の有無	●	●
	固定金具の劣化、固定ボルトの緩みの点検	●	●
	防振材、ストッパー等の劣化、緩みの有無	●	●
2 タンク	水漏れ、外部のさび、腐食及び損傷等の有無	●	●
3 氷生成装置	熱交換器部分の汚れ、破損等の有無	●	●
4 排水系統			
ア ドレンパン	汚れ、発錆、腐食等の有無	●	●
イ ドレン排水	本体のドレン排水確認を行い、支障がないか確認	●	●
5 冷房切替え	補助電気モーター、加湿器の電源遮断をするとともに自動制御機器の切替え、作動確認を確実に実施	●	●
6 電気系統			
ア 操作、動力回路	絶縁抵抗を測定し、その値が1MΩ以上あるか確認	●	●
イ 端子	緩み、変色及び破損の有無	●	●
ウ 操作盤	汚れ、異物の付着及び変形の有無	●	●
エ クランクケースヒータ	通電、発熱状態の異常の有無	●	●
7 送風機			
ア Vベルト	緩み、亀裂、摩耗等の劣化の有無	●	●
イ 軸受	音、振動等の異常の有無	●	●
ウ シロッコファン・プロペラファン	汚れ、損傷等の劣化の有無	●	●
8 エアフィルタ			
ア ろ材	詰まり、損傷等の劣化の有無の確認・清掃	●	●
イ 枠	変形及び腐食等の劣化の有無	●	●
9 冷媒系統	ガス漏れの有無	●	●
	配管の損傷等の劣化の有無	●	●
10 熱交換器	ファンコイルの汚れ、損傷等の劣化の有無	●	●
11 加湿器	汚れ、損傷等の劣化の有無	●	●
12 保温装置			
ア インターロック	室内送風機運転と補助電機ヒーター通電の作動の良否点検	●	●
イ 圧力開閉器	高低圧開閉器の設定値での作動の良否点検	●	●
	油圧保護開閉器の設定値での作動の良否点検	●	●
ウ 可溶栓	ガス漏れや変形の確認	●	●
エ 温度ヒューズ	溶断、変形、変色の有無	●	●
オ 過熱防止器	作動の良否点検	●	●
カ 圧力計	圧力計の精度点検	●	●
13 自動制御機器	温度調節器、湿度調節器、タイマー制御、容量制御等が設定値で確実に作動するか確認	●	●
14 運転調整	供給電源電圧の異常確認	●	●
15 温度測定	運転時の電圧変動が定格以内にあるか確認	●	●
	各居室等の吹出し口及び吸込み口の測定	●	●

## (2) ビル用パッケージエアコン

点検項目	点検及び保守点検内容	冷房	暖房
1 基礎・固定部	亀裂、沈下等の異常の有無	●	●
	固定金具の劣化、固定ボルトの緩みの点検	●	●
	防振材、ストッパー等の劣化、緩みの有無	●	●
2 外観の状況	腐食、変形、破損等の劣化の有無	●	●
3 加湿器給水	給水支弁の開閉確認	●	●
4 排水系統			
ア ドレンパン	汚れ、発錆、腐食等の有無	●	●
イ ドレン排水	本体のドレン排水確認を行い、支障がないか確認	●	●
5 冷暖房切替え	補助電気モーター、加湿器の電源遮断をするとともに自動制御機器の切替え、作動確認を確実に実施	●	●
6 電気系統			
ア 操作、動力回路	絶縁抵抗を測定し、その値が1MΩ以上あるか確認	●	●
イ 端子	緩み、変色及び破損の有無	●	●
ウ 操作盤	汚れ、異物の付着及び変形の有無	●	●
エ クランクケースヒータ	通電、発熱状態の異常の有無	●	●
7 送風機			
ア Vベルト	緩み、亀裂、摩耗等の劣化の有無	●	●
イ 軸受	音、振動等の異常の有無	●	●
ウ シロッコファン・プロペラファン	汚れ、損傷等の劣化の有無	●	●
8 エアフィルタ			
ア ろ材	詰まり、損傷等の劣化の有無の確認・清掃	●	●
イ 枠	変形及び腐食等の劣化の有無	●	●
9 冷媒系統	ガス漏れの有無	●	●
	配管の損傷等の劣化の有無	●	●
10 熱交換器	ファンコイルの汚れ、損傷等の劣化の有無	●	●

1 1	加湿器	汚れ、損傷等の劣化の有無	●	●
1 2	保温装置			
ア	インターロック	室内送風機運転と補助電機ヒーター通電の作動の良否点検	●	●
イ	圧力開閉器	高低圧開閉器の設定値での作動の良否点検 油圧保護開閉器の設定値での作動の良否点検	●	●
ウ	可溶栓	ガス漏れや変形の確認	●	●
エ	温度ヒューズ	溶断、変形、変色の有無	●	●
オ	過熱防止器	作動の良否点検	●	●
カ	圧力計	圧力計の精度点検	●	●
1 3	自動制御機器	温度調節器、湿度調節器、タイマー制御、容量制御等が設定値で確実に作動するか確認	●	●
1 4	運転調整			
ア	電源電圧	供給電源電圧の異常確認 運転時の電圧変動が定格以内にあるか確認	●	●
イ	運転電流	主電流及び圧縮機電流が定格以下にあるか確認 補助電気ヒーターの電流が定格値にある確認	●	●
ウ	冷凍機油	損傷劣化及び油量の適否確認	●	●
エ	熱交換状況	冷媒の液温、室内外機吹出し空気の温度等点検	●	●
オ	除霜装置	検知作動並びに四方弁作動の良否確認	●	●
カ	音、振動	異常の有無	●	●
1 5	温度測定	各居室等の吹出し口及び吸込み口の測定	●	●

## 5 200号建物

## (1) ビル用パッケージエアコン

点検項目	点検及び保守点検内容	冷房	暖房
1 基礎・固定部	亀裂、沈下等の異常の有無	●	●
	固定金具の劣化、固定ボルトの緩みの点検	●	●
	防振材、ストッパー等の劣化、緩みの有無	●	●
2 外観の状況	腐食、変形、破損等の劣化の有無	●	●
3 加湿器給水	給水支弁の開閉確認	●	●
4 排水系統			
ア ドレンパン	汚れ、発錆、腐食等の有無	●	●
イ ドレン排水	本体のドレン排水確認を行い、支障がないか確認	●	●
5 冷暖房切替え	補助電気モーター、加湿器の電源遮断をするとともに自動制御機器の切替え、作動確認を確実に実施	●	●
6 電気系統			
ア 操作、動力回路	絶縁抵抗を測定し、その値が1MΩ以上あるか確認	●	●
イ 端子	緩み、変色及び破損の有無	●	●
ウ 操作盤	汚れ、異物の付着及び変形の有無	●	●
エ クランクケースヒータ	通電、発熱状態の異常の有無	●	●
7 送風機			
ア Vベルト	緩み、亀裂、摩耗等の劣化の有無	●	●
イ 軸受	音、振動等の異常の有無	●	●
ウ シロッコファン・プロペラファン	汚れ、損傷等の劣化の有無	●	●
8 エアフィルタ			
ア ろ材	詰まり、損傷等の劣化の有無の確認・清掃	●	●
イ 枠	変形及び腐食等の劣化の有無	●	●
9 冷媒系統	ガス漏れの有無	●	●
	配管の損傷等の劣化の有無	●	●
10 熱交換器	ファンコイルの汚れ、損傷等の劣化の有無	●	●
11 加湿器	汚れ、損傷等の劣化の有無	●	●
12 保温装置			
ア インターロック	室内送風機運転と補助電機ヒーター通電の作動の良否点検	●	●
イ 圧力開閉器	高低圧開閉器の設定値での作動の良否点検	●	●
	油圧保護開閉器の設定値での作動の良否点検	●	●
ウ 可溶栓	ガス漏れや変形の確認	●	●
エ 温度ヒューズ	溶断、変形、変色の有無	●	●
オ 過熱防止器	作動の良否点検	●	●
カ 圧力計	圧力計の精度点検	●	●
13 自動制御機器	温度調節器、湿度調節器、タイマー制御、容量制御等が設定値で確実に作動するか確認	●	●
14 運転調整			
ア 電源電圧	供給電源電圧の異常確認	●	●
	運転時の電圧変動が定格以内にあるか確認	●	●
イ 運転電流	主電流及び圧縮機電流が定格以下にあるか確認	●	●
	補助電気ヒーターの電流が定格値にある確認	●	●
ウ 冷凍機油	損傷劣化及び油量の適否確認	●	●
エ 熱交換状況	冷媒の液温、室内外機吹出し空気の温度等点検	●	●
オ 除霜装置	検知作動並びに四方弁作動の良否確認	●	●
カ 音、振動	異常の有無	●	●
15 温度測定	各居室等の吹出し口及び吸込み口の測定	●	●

## 6 205号建物

## (1) ビル用パッケージエアコン

点検項目	点検及び保守点検内容	冷房	暖房
1 基礎・固定部	亀裂、沈下等の異常の有無 固定金具の劣化、固定ボルトの緩み点検 防振材、ストッパー等の劣化及び緩みの有無	●	●
2 外観の状況	腐食、変形、破損等の劣化の有無	●	●
3 加湿器給水	給水支弁の開閉確認	●	●
4 排水系統			
ア ドレンパン	汚れ、発錆及び腐食等の有無	●	●
イ ドレン排水	本体のドレン排水確認を行い、支障がないか確認	●	●
5 冷暖房切替え	補助電気モーター、加湿器の電源遮断をするとともに自動制御機器の切替え、作動確認を確実に実施	●	●
6 電気系統			
ア 操作・動力回路	絶縁抵抗を測定し、その値が1MΩ以上あるか確認	●	●
イ 端子	緩み、変色及び破損の有無	●	●
ウ 操作盤	汚れ、異物の付着及び変形の有無	●	●
エ クランクケースヒーター	通電、発熱状態の異常の有無	●	●
7 送風機			
ア Vベルト	緩み、亀裂及び摩耗等の劣化の有無	●	●
イ 軸受	音、振動等の異常の有無	●	●
ウ シロッコファン・プロペラファン	汚れ、損傷等の劣化の有無	●	●
8 エアフィルタ			
ア ろ材	詰まり及び損傷等の劣化の有無の確認及び清掃	●	●
イ 枠	変形及び腐食等の劣化の有無	●	●
9 冷媒系統	ガス漏れの有無 配管の損傷等の劣化の有無	●	●
10 熱交換器	ファンコイルの汚れ及び損傷等の劣化の有無	●	●
11 加湿器	汚れ及び損傷等の劣化の有無	●	●
12 保温装置			
ア インターロック	室内送風機運転と補助電機ヒーター通電の作動の良否点検	●	●
イ 圧力開閉器	高低圧開閉器の設定値での作動の良否点検 油圧保護開閉器の設定値での作動の良否点検	●	●
ウ 可溶栓	ガス漏れや変形の確認	●	●
エ 温度ヒューズ	熔断、変形及び変色の有無	●	●
オ 過熱防止器	作動の良否点検	●	●
カ 圧力計	圧力計の精度点検	●	●
13 自動制御機器	温度調整器、湿度調整器、タイマー制御、容量制御等が設定値で確実に作動するか確認	●	●
14 運転調整			
ア 電源電圧	供給電源電圧の異常確認 運転時の電圧変動が定格以内にあるか確認	●	●
イ 運転電流	主電流及び圧縮機電流が定格以下にあるか確認 補助電機ヒーターの電流が定格値にあるか確認	●	●
ウ 冷凍機油	損傷劣化及び油量の適否確認	●	●
エ 熱交換状況	冷媒の液温、室内外機吹出し空気の温度等点検	●	●
オ 除霜装置	検知作動並びに四方弁作動の良否確認	●	●
カ 音、振動	異常の有無	●	●
15 温度測定	各居室等の吹出し口及び吸込み口の測定	●	●

7 209号建物

(1) 吸収式冷温水機

点検項目	点検及び保守点検内容	冷房	暖房
1 基礎・固定部	亀裂、沈下等の異常の有無 固定金具の劣化、固定ボルトの緩み点検		●
2 外観状況	腐食、変形、破損等の劣化の有無		●
3 動力盤	冷房及び暖房の切替えの確認 絶縁抵抗を測定し、その値が1MΩ以上あるか確認 作動の良否点検		●
4 機内盤及び遠隔操作版	作動の良否点検		●
5 付属弁	弁の開閉の良否点検		●
6 冷温水及び冷却水系統	出口及び入口の圧力損失が規定値にあるか確認 各水室部に水漏れがないか確認 冷却水系統の水抜き確認		●
7 電気系統			
ア 絶縁測定	操作回路等の絶縁抵抗を500V絶縁抵抗計を用いて測定し、その値が1MΩ以上あるか確認 ただし、低電圧回路(24V以下)は除外する。		●
イ 端子	緩み、変色及び破損の有無 所定の設備値で作動するか確認		●
8 保安装置			
ア 保護スイッチ	冷水過冷却、断水、液面リレーその他のスイッチの作動の良否点検		●
イ インターロック	冷水及び冷却水ポンプその他のインターロックの作動の良否点検		●
9 運転調整			
ア 音及び振動	異常の有無		●
イ 電流及び電圧	運転時に主電源電圧の変動が定格以内にあるか確認 運転電流が定格以下であるか確認		●
ウ 温度制御	設定温度で確実に作動するか確認		●
エ 電動機	回転方向が正回転であるか確認		●
オ 熱交換器	冷水及び冷却水の入口温度と出口温度、溶液温度、溶液濃度、凝縮温度等を測定し、その値が許容範囲内にあるか確認 不凝縮ガスの混入及び冷却塔の汚れの有無 スケール付着の有無		●
10 真空気密	抽気ポンプで機内の不凝縮ガスを採取し、規定値以下にあるか確認し、規定値以下であれば真空引きを実施し正常値に戻す。 パラジウムセル部の焼損及び劣化度の確認		●
11 冷媒及び吸収剤	攪拌した溶液を適量採取し、腐食防止剤濃度及びアルカリ度が規定の許容範囲内にあるか確認し、範囲外であれば、薬剤を投入し正常範囲内に戻す 溶液に汚れがないか確認		●

(2) 冷温水ポンプ

点検項目	点検及び保守点検内容	冷房	暖房
I 基礎・固定部	固定金具の劣化、固定ボルトの緩み点検 防振材、ストッパー等の劣化、緩みの有無		●
2 本体	腐食、損傷及び漏洩の有無 軸継手ゴム(ベルト)の損傷等の劣化の有無 軸継手の芯狂いが許容範囲内にあるか確認 主電源電圧の変動が運転時に定格電圧以内にあるか確認 運転電流が定格値以下にあるか確認 ポンプの吸込み圧力及び吐出し圧力が許容範囲内にあるか確認 グラウンドパッキン取替(年1回)		●
3 電動機	腐食及び損傷の有無 円滑に回転するか確認 回転方向が正回転であるか確認 絶縁抵抗を測定し、その値が1MΩ以上あるか確認		●
4 フード弁及び逆止弁	開閉状態の良否点検		●
5 圧力計、連成計又は真空計	腐食及び損傷の有無 指示値に狂いがないか確認		●

(3) 真空給水ポンプ

点検項目	点検及び保守点検内容	冷房	暖房
I 基礎・固定部	固定金具の劣化、固定ボルトの緩み点検 防振材、ストッパー等の劣化、緩みの有無		●



2 本体	腐食、損傷及び漏洩の有無		●
	軸継手ゴム（ベルト）の損傷等の劣化の有無		●
	軸継手の芯狂いが許容範囲内にあるか確認		●
	主電源電圧の変動が運転時に定格電圧以内にあるか確認		●
	運転電流が定格値以下にあるか確認		●
	ポンプの吸込み圧力及び吐出し圧力が許容範囲内にあるか確認		●
3 電動機	グランドバッキン取替（年1回）		●
	腐食及び損傷の有無		●
	円滑に回転するか確認		●
	回転方向が正回転であるか確認		●
4 フード弁及び逆止弁	絶縁抵抗を測定し、その値が1MΩ以上あるか確認		●
	閉閉状態の良否点検		●
5 圧力計、連成計又は真空計	腐食及び損傷の有無		●
	指示値に狂いがないか確認		●
6 制御機器			
ア 制御盤	電磁開閉器の接点の劣化の有無		●
イ 真空開閉器・水位開閉器	作動の良否点検		●
ウ 電磁弁装置	作動の良否点検		●

## (4) ファンコイルユニット

点検項目		点検及び保守点検内容		冷房	暖房
1 外観の状況					
ア 本体	腐食、変形、破損等の劣化の有無		●		
	固定金具、固定ボルトの緩み、変形、腐食等の点検		●		
	イ 保温・保温材	破損の有無		●	
	ウ 吹出しグリル	汚れ、破損等の劣化の有無		●	
2 送風機					
ア ファンライナ	汚れ、発錆、腐食及び変形等の有無		●		
	回転バランスの良否点検		●		
イ 電動機	音、振動等の異常の有無		●		
	絶縁抵抗を測定し、その値が1MΩ以上あるか確認		●		
	回転がスムーズであるか確認		●		
ウ 音、振動	異常でないか確認		●		
3 熱交換器	冷温水コイルの破損や腐食の有無		●		
4 排水系統					
ア ドレンパン	汚れ、発錆及び腐食等の有無の確認及び清掃		●		
イ ドレンの排水	本体ドレン排水確認を行い、支障がないか確認・清掃		●		
5 エアフィルタ					
ア ろ材	汚れ、損傷等の劣化の有無の確認・清掃		●		
イ 枠	損傷等の劣化の有無		●		
6 電装部品					
ア 電気配線	損傷、過熱、劣化の有無		●		
イ 接続端子	端子接続の緩みの有無		●		
ウ 操作スイッチ 運転表示灯	損傷、破損の有無		●		
	表示灯の点灯状況確認		●		
	風量切替え等の作動の良否点検		●		
7 止め弁・流量調整弁	損傷、破損の有無		●		
	エア抜き弁、ドレン抜き弁の良否点検及び清掃		●		
8 温度測定	各居室等の吹出し口及び吸込み口の測定		●		

## 8 215号建物

## (1) ビル用パッケージエアコン

点検項目	点検及び保守点検内容	冷房	暖房
1 基礎・固定部	亀裂、沈下等の異常の有無	●	●
	固定金具の劣化、固定ボルトの緩み点検	●	●
	防振材、ストッパー等の劣化及び緩みの有無	●	●
2 外観の状況	腐食、変形、破損等の劣化の有無	●	●
3 加湿器給水	給水支弁の開閉確認	●	●
4 排水系統			
ア ドレンパン	汚れ、発錆及び腐食等の有無	●	●
イ ドレン排水	本体のドレン排水確認を行い、支障がないか確認	●	●
5 冷暖房切替え	補助電気モーター、加湿器の電源遮断をするとともに自動制御機器の切替え、作動確認を確実に実施	●	●
6 電気系統			
ア 操作・動力回路	絶縁抵抗を測定し、その値が1MΩ以上あるか確認	●	●
イ 端子	緩み、変色及び破損の有無	●	●
ウ 操作盤	汚れ、異物の付着及び変形の有無	●	●
エ クランクケースヒーター	通電、発熱状態の異常の有無	●	●
7 送風機			
ア Vベルト	緩み、亀裂及び摩耗等の劣化の有無	●	●
イ 軸受	音、振動等の異常の有無	●	●
ウ シロコファン・プロペラファン	汚れ、損傷等の劣化の有無	●	●
8 エアフィルタ			
ア ろ材	詰まり及び損傷等の劣化の有無の確認及び清掃	●	●
イ 枠	変形及び腐食等の劣化の有無	●	●
9 冷媒系統	ガス漏れの有無	●	●
	配管の損傷等の劣化の有無	●	●
10 熱交換器	ファンコイルの汚れ及び損傷等の劣化の有無	●	●
11 加湿器	汚れ及び損傷等の劣化の有無	●	●
12 保温装置			
ア インターロック	室内送風機運転と補助電機ヒーター通電の作動の良否点検	●	●
イ 圧力開閉器	高低圧開閉器の設定値での作動の良否点検	●	●
	油圧保護開閉器の設定値での作動の良否点検	●	●
ウ 可溶栓	ガス漏れや変形の確認	●	●
エ 温度ヒューズ	溶断、変形及び変色の有無	●	●
オ 過熱防止器	作動の良否点検	●	●
カ 圧力計	圧力計の精度点検	●	●
13 自動制御機器	温度調整器、湿度調整器、タイマー制御、容量制御等が設定値で確実に作動するか確認	●	●
14 運転調整			
ア 電源電圧	供給電源電圧の異常確認	●	●
	運転時の電圧変動が定格以内にあるか確認	●	●
イ 運転電流	主電流及び圧縮機電流が定格以下にあるか確認	●	●
	補助電機ヒーターの電流が定格値にあるか確認	●	●
ウ 冷凍機油	損傷劣化及び油量の適否確認	●	●
エ 熱交換状況	冷媒の液温、室内外機吹出し空気の温度等点検	●	●
オ 除霜装置	検知作動並びに四方弁作動の良否確認	●	●
カ 音、振動	異常の有無	●	●
15 温度測定	各居室等の吹出し口及び吸込み口の測定	●	●

## 9 216号建物

## (1) 温水ポンプ

点検項目	点検及び保守点検内容	冷房	暖房
1 基礎・固定部	固定金具の劣化、固定ボルトの緩み点検 防振材、ストッパー等の劣化、緩みの有無		●
2 本体	腐食、損傷及び漏洩の有無 軸継手ゴム（ベルト）の損傷等の劣化の有無 軸継手の芯狂いが許容範囲内にあるか確認 主電源電圧の変動が運転時に定格電圧以内にあるか確認 運転電流が定格値以下にあるか確認 ポンプの吸込み圧力及び吐出し圧力が許容範囲内にあるか確認 受水タンク内の真空度及び吐出し圧力が許容範囲内にあるか確認 グラウンドパッキン取替（年1回）		●
3 電動機	腐食及び損傷の有無 円滑に回転するか確認 回転方向が正回転であるか確認 絶縁抵抗を測定し、その値が1MΩ以上あるか確認		●
4 フード弁及び逆止弁	閉閉状態の良否点検		●
5 圧力計、連成計又は真空計	腐食及び損傷の有無 指示値に狂いがないか確認		●

## (2) 真空給水ポンプ

点検項目	点検及び保守点検内容	冷房	暖房
1 基礎・固定部	固定金具の劣化、固定ボルトの緩み点検 防振材、ストッパー等の劣化、緩みの有無	●	●
2 本体	腐食、損傷及び漏洩の有無 軸継手ゴム（ベルト）の損傷等の劣化の有無 軸継手の芯狂いが許容範囲内にあるか確認 主電源電圧の変動が運転時に定格電圧以内にあるか確認 運転電流が定格値以下にあるか確認 ポンプの吸込み圧力及び吐出し圧力が許容範囲内にあるか確認 グラウンドパッキン取替（年1回）	●	●
3 電動機	腐食及び損傷の有無 円滑に回転するか確認 回転方向が正回転であるか確認 絶縁抵抗を測定し、その値が1MΩ以上あるか確認	●	●
4 フード弁及び逆止弁	閉閉状態の良否点検	●	●
5 圧力計、連成計又は真空計	腐食及び損傷の有無 指示値に狂いがないか確認	●	●
6 制御機器			
ア 制御盤	電磁開閉器の接点の劣化の有無	●	●
イ 真空開閉器・水位開閉器	作動の良否点検	●	●
ウ 電磁弁装置	作動の良否点検	●	●